

ゴウ
黒田剛
(14)

ミサキ
藤原美咲
(14)

—それで
話ってなに?
さっさと済ませて

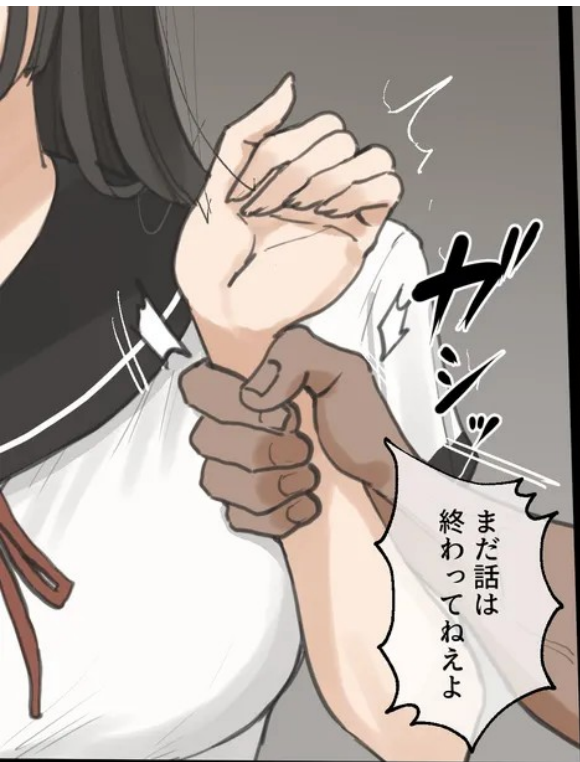
彼氏いねえ
んだろ?
美咲

俺の女に
なれよ

私あなたみたいな
気安く女子に触れる
クズに興味ないから

それにタバコ臭い
離れて
吐き気がする





ガシッ

まだ話は
終わってねえよ



もう二度とこんな
くだらないことで
呼び出さないで

おっと…
まだニオウ?

かなり香水
フったのによ笑



体育館裏だ
大人しく
ついてこい

女の喜びつてのを
たっぷり教えて
やっからよ



おいこれでも
優しくして
やってんだぜ

いやっ…
放して!



てか胸デカすぎ
何かツブだよ?

やめろ
嫌がってるだろ



お前停学が解けて
2週間も経ってない
だろ？



ぶん殴られる
前によ笑

はっ雑魚は
引っ込んでけ

優斗！



今やめるのが
身のためだ

ユウト
佐藤優斗
(14)



また学校に
呼び出されても
いいのか



もう一度停学
くらってみろ
次は退学処分だ

そういえば：
お前の父親かなり
厳しそうだっとな：
たしか軍に勤めてる
んだっけ？



このクソ野郎がッ!!

モブどもに少しチャホヤされてるからって調子乗ってんじゃねえぞアアン?!

お前こそっ…校内でしかイキれない雑魚だろっ…

口だけは達者だなこのクズがッ!

ドグッ

ガッ

ドブッ



ははっ…そうやってすぐ手を出せば…

強く見えるとしても思ってるのか?

てめえ…

マジで殺されたいらしいな…?

子供の頃から誰よりも強くなりたかった…だけど俺は病弱だった

ムキになればなるほど…弱く見えるぞ…

アッ

そんなにケンカ
売りたいなら
アタシが買って
やるって

ガ
シ

スパarrings
したいなら
いつでも来な

うんざりするほど
付き合ってるからさ!

リョウコ
高橋涼子
(15)

だから俺が選んだ道は
俺なりのやり方で
誰にも文句を言わず
認めさせること

常に学業では
トップの成績を
維持し続けた上に

グ
ッ

ぐう...

これ以上
醜態晒したく
ないなら
タツシな

クソがアツ!

涼子...
もういい...
大丈夫だから

え?
あ!
うん...



おい剛!!
またお前か?!
今すぐ職員室に
来い!!

誰がためえの指図
なんか受けるか
このハゲ

な...なんだと
この礼儀知らずが!!

おい優斗...
これで終わりだと
思うなよ

だけど...
その時の俺は
知らなかった

いつか必ず
叩き潰してやる

このガキ!!
明日保護者を
連れてこい!

あーあ残念
やつと面白く
なってきたとこ
だったのに

俺たちの
悪縁は

まるで
運命みたいに
断ち切れないもの
だったことを...

あの子は昔から
変わらないわね…
小さい頃から
いつも優斗のこと
実の姉みたいに
守ってくれて…

涼子ちゃんから
心配だって
連絡があったわよ…
あなたが
電話に出ないって

ああ
そうなんだ

ええ…
一度連絡して
あげなさい

それと…
担任の先生とも
お電話したんだけど
あの子…黒田くん
学校辞めたそうよ

そういえば
あの子も
お父さんと
二人暮らしだって
聞いたわ…

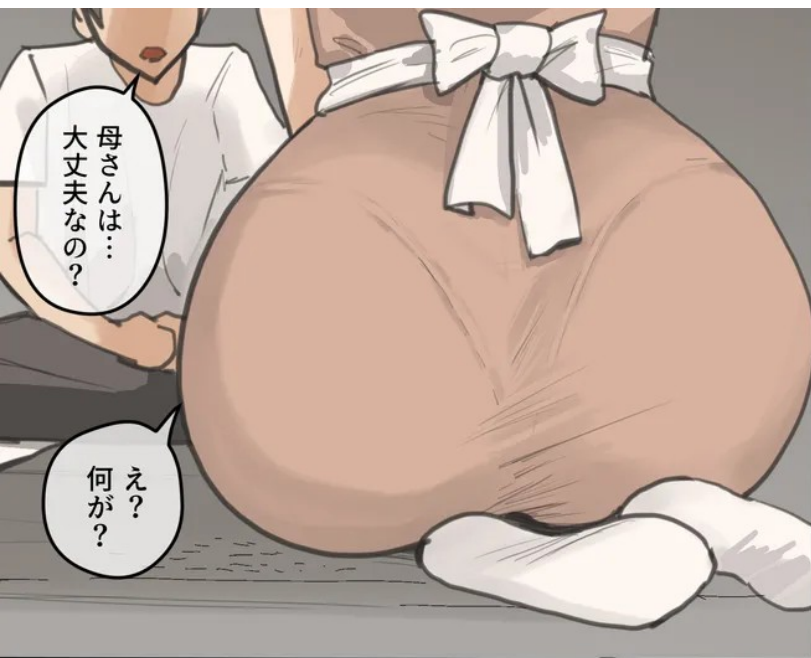
ユカ
佐藤由佳
(33)

なんだか可哀想ね…
ちゃんと面倒を見て
もらえなかったの
かしら…

全部アイツ自身が
やってきたことだ
なら全ての責任は
アイツにある

環境のせいに
するなんて
卑怯者の
することだ…

…お母さんね
優斗のそういうところ
本当に立派だと思う
いつも感謝してるわ…



母さんは…
大丈夫なの？

え？
何が？



でもね…
時々心配になるの
うちの子があまりにも早く
大人になっちゃったんじゃ
ないかって…

同い年の子みたいにも
っとお母さんに
甘えてくれても
いいのよ…？



母さんまだ若いなら
寂しくないのかなって
母さんの人生だって
大事なんだから…



母さん
ちよっと
出てくるね！

まったく…
時々私なんかより
ずっと大人に
なるんだから…



あ母さん
ごめん
電話…

え今？
家の前に？
ああ分かった
すぐ行くよ



あ…
そ…
そ…
の…



こんな
遅い時間に…
どうやって
来たんだ？

お礼なら
学校で十分
聞いたけど…



あそうだ…
これ…

桃のジャム…
私が作ったの…

本当…？
ありがとう
大事に食べるよ



怪我…
大丈夫か
心配で…

もじもじ



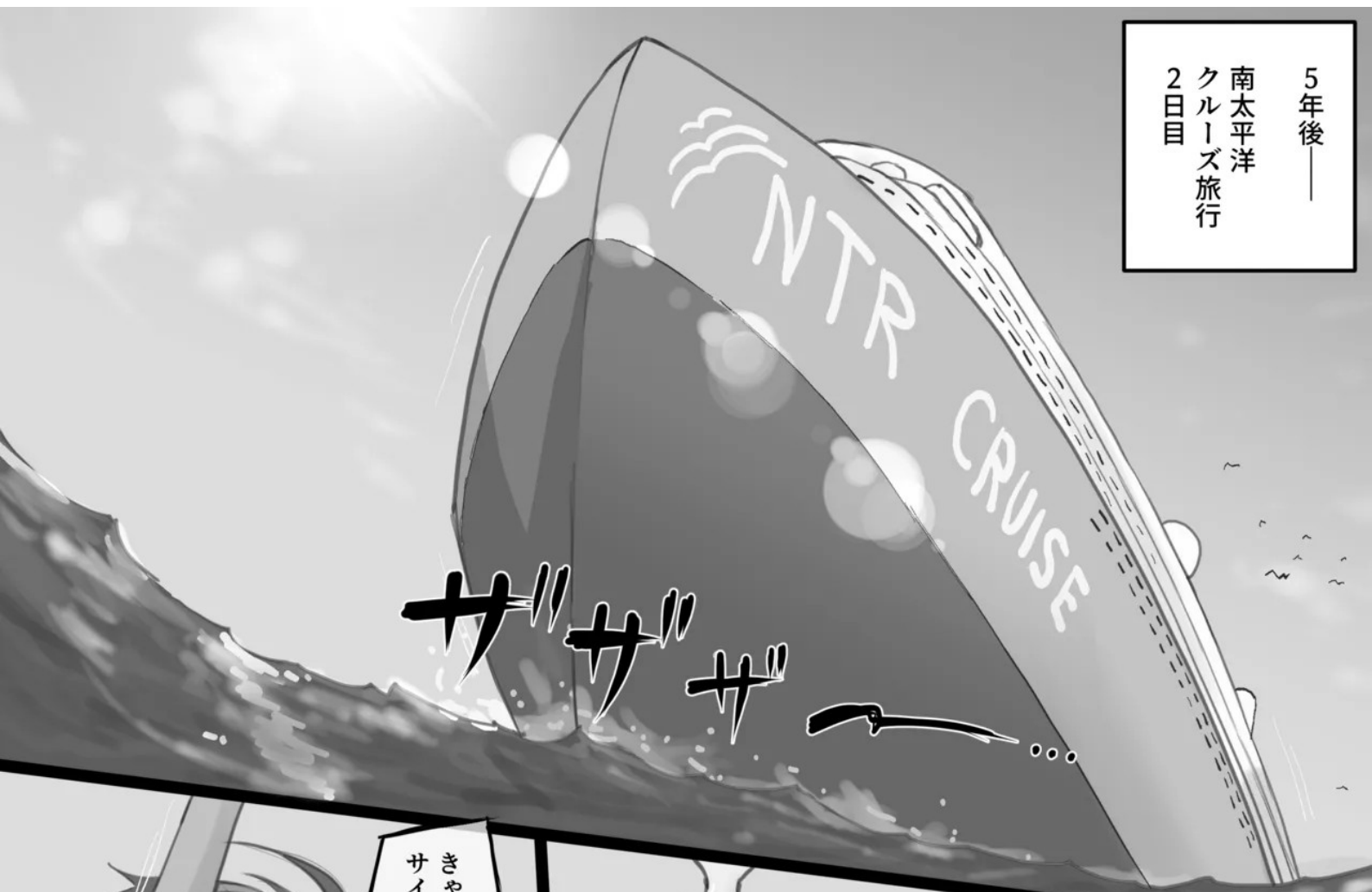
美咲お嬢様
もう遅い時間です
そろそろお戻りを

あ…
はい…





5年後—
南太平洋
クルーズ旅行
2日目



ザザザ



きやあああ!
サイコー!!



はあ：優斗!!
シラけること
言わないの!
アタシが直々に
スタイリング
したんだから

自分の理想を
俺の母親に
押し付けるの
やめろ



私は
気に入ってるわよ?
久しぶりに
昔を思い出すし:
フフフ

いくらなんでも
母さんの水着
大胆すぎないか
...?



あらほんと?
ほら優斗
美咲ちゃんも
褒めてくれてる
じゃない

おばさま
すごく綺麗で
ずっとお若く
見えます

ほんとセンスない
なんでこんな奴が
美咲の彼氏で
いられるのか
理解に苦しむわ

うっ:
うるさいな!
それより
明日滞在する
島の計画
立てようぜ



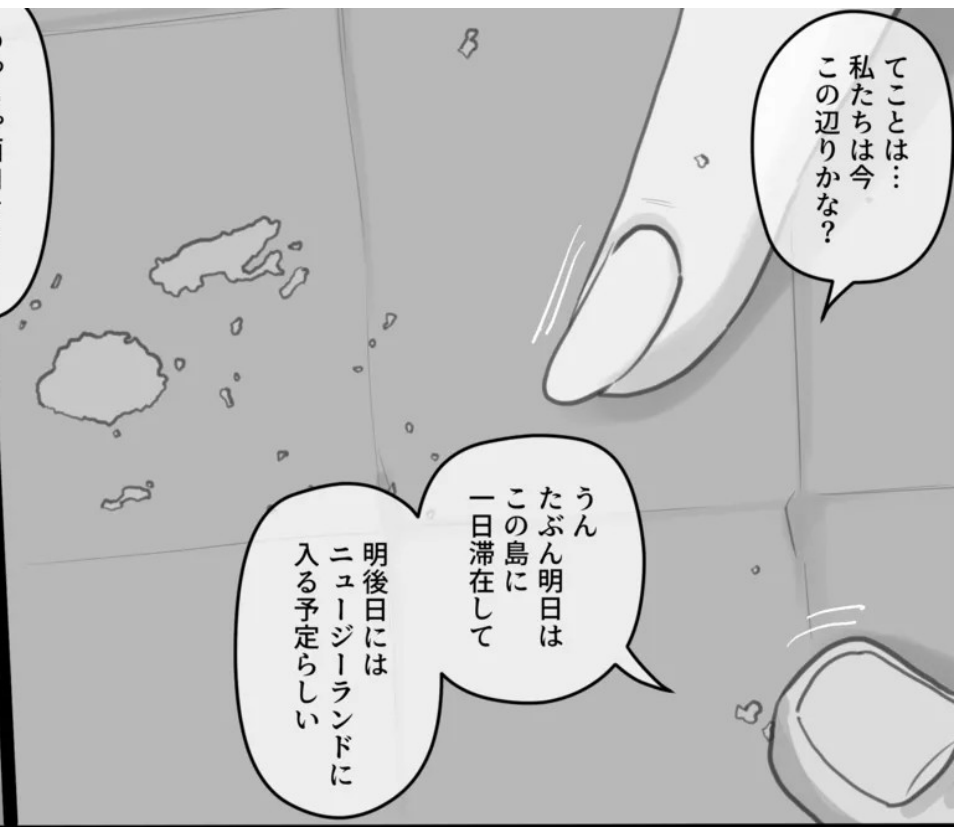
なんだとっ?!
アタシが
貧乳だって
言いたいの?!

な：なんで
そうなんだよ?!



めっちゃ面白そう！
ニュージージーランドの
火山ツアーも楽しみ！

筋肉ムキムキの
イケメンも
たくさん…？
ムフフ…



てことは…
私たちは今
この辺りかな？

うん
たぶん明日は
この島に
一日滞在して
明後日には
ニュージージーランドに
入る予定らしい



ちょっと優斗…
二人きりの時も
そんなつまらない話
ばっかしてるワケ？

私たちは
退散するから
美咲ちゃんと
暑い時間を
過ごさないな…



そういえば
この地域って
火山がすごく
多いのね

この近辺は
プレートが
ぶつかり合う
場所だから…

あっそうか！
授業で習った
環太平洋火山帯
ってここなんだ…



ごめんなさい...

きゃっ...



だってさ?

アタシたちが邪魔だったみたい早く行かないと怒られちゃう

な...何の話だ?!
そういうのは
こっちのペース
ってのが



ん...?
お前どっかで見た顔だな?

あー...
そうだ!
涼子だろ?

黒田剛?



どこに目つけて歩いてんだ?

にしても…
こんなところで
会うとはな

このっ…!
いきなり
何すんのよ!!

おっ…美咲か
相変わらず
イイ女だな笑
結局優斗と
くっついたのか
ウケるな

そんで
こっちの女は?
お前らの姉か?

こりやまた
暴力的な
パイオツ
してんなあ

おいっ彼女は
優斗のお母さんだ
言葉に気をつけろ!

は?
優斗のお袋?
マジかよ笑

な…何
この硬い身体…
本当にコイツ
あの黒田なの?

コイツ…
見ない間に
随分とデカく
なったじゃない

フー…

息子とは違って
情熱的っすね笑

モゾ
モゾ

ギンギンに
なっちまった

アンタ頭おかしい
んじゃないの?!
セクハラだから!!
今すぐ謝りなさい!

ったく…
うるせえ
まな板だな
笑

もしかして
この子が…
あの時学校を
辞めた…?!

想像していたより
ずっと危険な雰囲気…

んだと?!

これだけ
無茶苦茶なら
関わらない方
がいい…

もういいわ
行きましょう
涼子ちゃん…

ああそうだ…
あのスパーの話
まだ有効か?

コイツ…

その手を
放せ!!
黒田!

乗客の皆様は船長より
お知らせいたします
ただいま近隣海域にて
大規模な地震が発生
当海域に津波警報が
発令されました

緊急事態発生！
緊急事態発生！

ただちに客室へ
お戻りください
甲板への移動は
固く禁止いたします

もう一度
彼女たちに
触れてみる
次は……

なんだよ
この海流の動き……！

え？
いきなり何
津波？

乗組員の指示に従い
救命胴衣の着用準備を
してください！
繰り返し申し上げます

ははっ……
ドッキリか
なんかだろ……

緊急事態発生！
緊急事態発生！

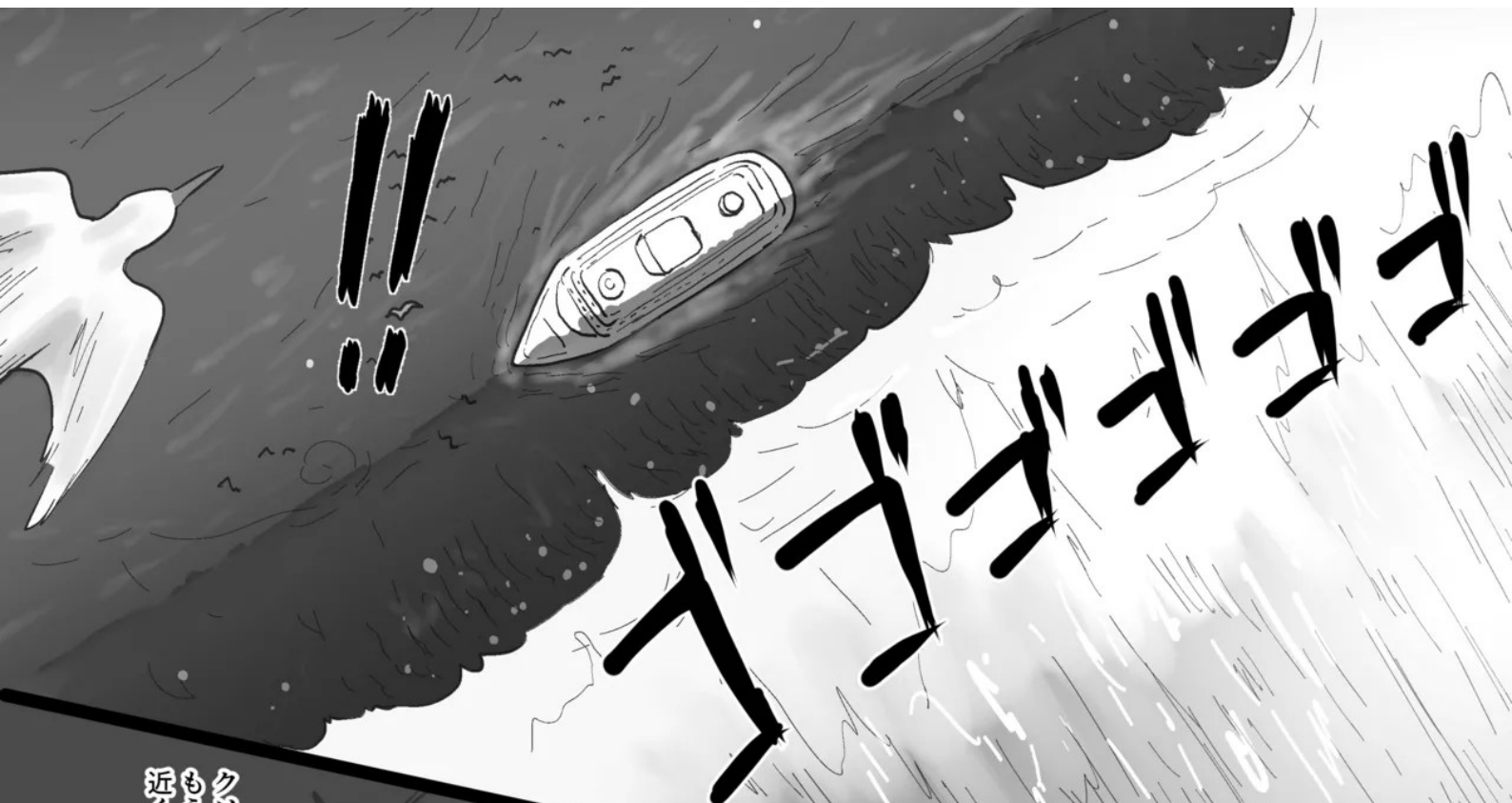
これって……
もしかして……
とんでもない……

うわあああ……！！
あ……あれっ！

ザッ
ザッ

キャッ





!!

ドドドドド



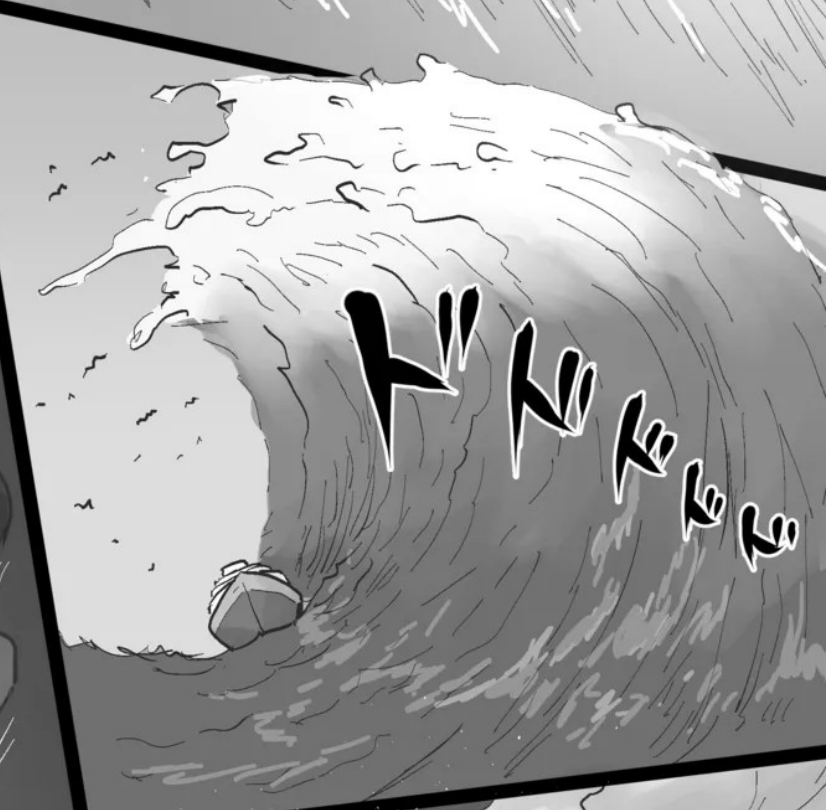
クソッ!
もうこんな
近くに?

!!

優斗!

母さんッ!!

涼子姉ッ!!



ドドドド



DAY-01

事故発生から
6時間後

まったく
生きてるってのは
最高だな…
だろ？

んっ…でも…
本当に見たの…？
嘘じゃないわよね？

間違いねえって…
木箱に掴まった
美咲と優斗の二人が
あっちの島に
流されてった

はあ…
はあ…

あ
あ

ザ
ザ

ザ
ザ

だから
安心しなって
アイツらは
絶対生きてるさ

涼子ちゃん…
ごめんなさい…
手を離しちゃって…
無事かしら？
お願いみんな
生きていて…

んう…

かあ…!!
おばさんの
Kカップおっぱい
マジで極上だな…
もちもちで…
弾力も最高だぜ…

ムニョ〜♡♡

ムニョ〜♡♡

なんですって?!
約束が違うじゃない!

胸を好きに
させてくれたら
明日すぐにあの島へ
連れて行くって…!!

あー…でも
やっぱ今日は
無理したからか
ちと疲れたわ
回復するには
ここで一週間は
休まねえとな?

おばさん
ウブなんだな
ククッ

キョ〜♡♡

たかが脂肪の塊を
揉ませただけで
俺をコキ使うつもり
だったのか？

クソ野郎…

はま…

ん…

あ…

スリ

スリ

お…乳首ピンピンに
硬くなってんぜ♥
ほらここでやめたら
おばさんも
物足りねえだろ？♥

待ちなさ…

あ…あ…あ…

俺は命の恩人だぜ？
全てを差し出したって
足りねえくらいなのに
デカイ乳に反して
器はちっせえなく

いいから
俺を喜ばせてみる
俺もそれ相應の
お返しをしてやる
ギブアンドテイクが
俺の信条なんでな

ん…

ん…あ…

ん…

あ…

ん…



待って！
黒田くん…

あぁ…？

それじゃ…口で…
口でしてあげる…
それで十分でしょ？
ね？



いらねえな

いやっ…



おら…
さっさと
股開けよ♥

もう
びしょ濡れに
なってるんだろ

あんっ

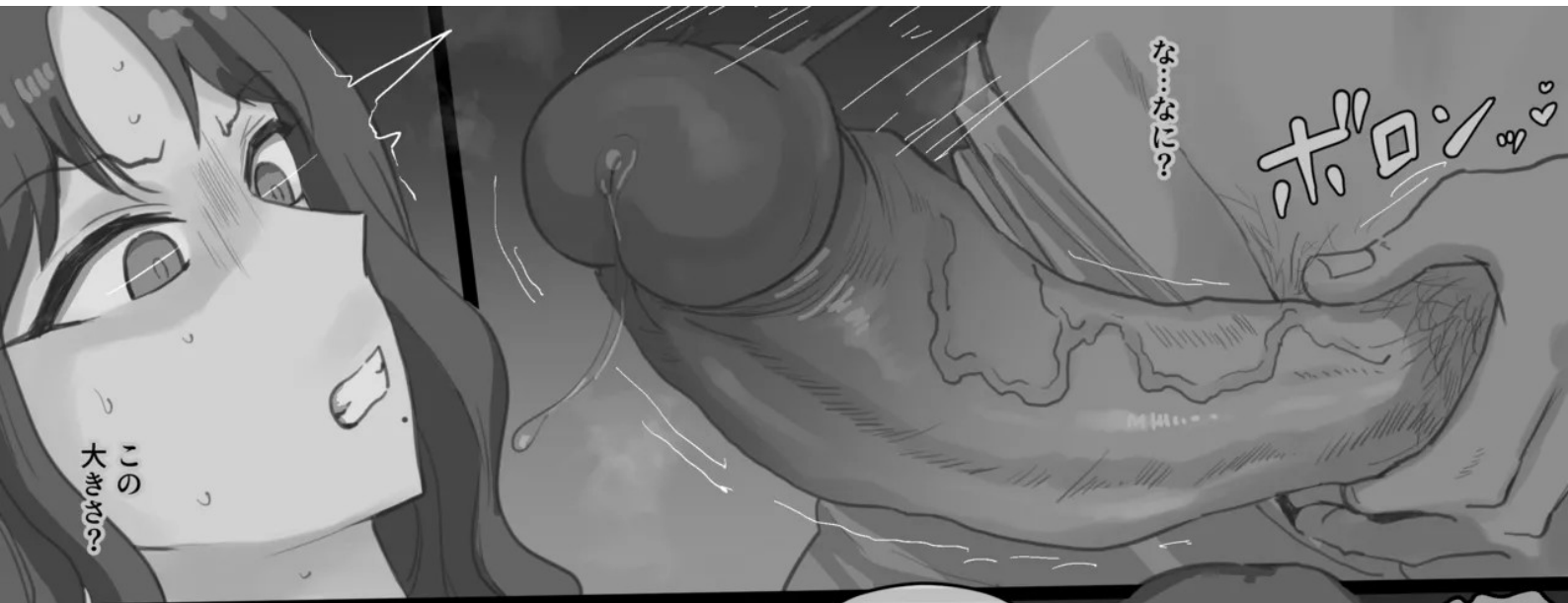


俺が今
気になってるのは
ここなんだよ…♥

あのクソ優斗を
産んだ
この場所がな

ドキ





な…なに？

ポロン♡♡

この
大きさ？



悪いけど…
こんなの
全部は入らないわ
半分くらいなら…

バカ言うな
お前経産婦だろ？
この穴から
ガキひりだした
くせによ

そ…それと
これとは
ちがっ…♡
違うわ!!

マンコ緩めろって
そんなガチガチじゃ
入らねえだろ？ 笑

ドキ♡

ドキ♡

そんな
ビビんなよ
おぼさん
ククッ

ドキ♡

こんな暴力的な
サイズ…
初めて見た…

あ…
あ…
あ…
来る…

すぐイかせて
やるし
絶対気に入るぜ
俺のチンコ♡

ああ…
マンコ
きつつ!

はあっもう…
これ以上はムリ…
奥届いてるから…

いちいち騒ぐな
黙って俺のチンコ
啜えてろ!
子宮の奥まで
エグってやつから

んぐう…
んぐう…
んぐう…

おおお
おおお

一体どこまで
入ってくるの?

し…子宮が
持ち上げ
られてる?!

クソっ…
どんだけ締め
やばいんだよ
このマンコ…

すぐイっち
まいそうだ…
ああ…

お
おお
お

あ
あ
あ

ぎゃう

どちゃ



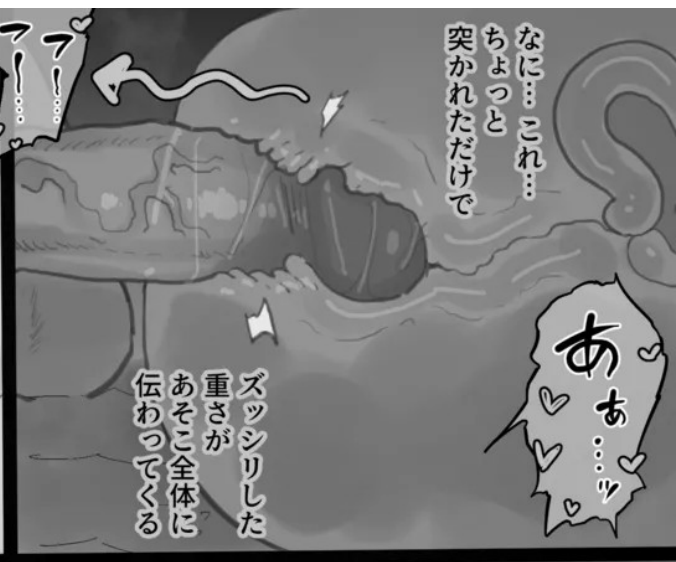


んっ
届い…た…
もうやだっ!
こんな簡単に
奥まで届く
なんて…

ズッ



あぁ…
また入って
くる…



なに…これ…
ちよつと
突かれただけで

ズッシリした
重さが
あそこ全体に
伝わってくる

あぁ…



あーイキそう
ヤバイわこれ
気に入った笑

俺のチンコどーよ?
最高だろ? ん?
由佳ちゃん彼氏いんの?
俺の女になれよ

由佳ちゃんだなんて…
気安く呼ばないで!

ふざけるな!!

おおお

あぁん

お

ほん

ほん

ごめん
由佳ちゃん…
俺たち別れよう

18歳で優斗を
身籠ってすぐ
あの人は
私たちを捨てた

あの子を快樂の
おまけかのように
扱った彼のせいで
私は男性不信に陥った

私に言い寄ってくる
数え切れないほどの
男たち…

男なんて結局…
皆同じだよ

そうしているうちに
女としての自分を
少しずつ忘れていった

だけど…
私は幸せだった
優斗は私の期待を
遥かに超えて
すすくと
よく育ってくれた

母さんまだ若いなら
寂しくないのかなって
母さんの人生だって
大事なんだから…

今になって
ようやく少し
勇気が湧いて
きたのに…

私の外見しか
見てないんだから



えっ？

なによこれ
おろして!!
あっ♡

うるせえな
黙ってマンコ
締めとけ!

ものすごい力...
私かなり重いの
オモテ扱
されてる...

本当に優斗と
同じくらいの
歳なの？

この体位で
やったことある？
由佳ちゃん♡

やだあ...っ
こんなの
耐えられない...
またイっちゃう

あああくる♡
だめだめだめ♡
さちやうう♡

だめっ!
やめてえ...
お願いっ!

突きたびに
潮吹いてんじゃん
ちゃんと水分温存
しとけよ



母親としての尊厳を
壊されちゃう...

おうっ

んおお...

ズッ
チャアアア

おほっ

ハハハ
またいったな
由佳ちゃん
オナホの資格も
バツチりだ

あつちよ...
ちよつと待って
黒田くん!!
もう無理い...
無理だから...!!

そんじや
今度は気持ちよく
一緒にイこうぜ

んん

おち

あああ...
イイ...
最っ高

つっても
由佳ちゃんの
マンコ名器すぎて
俺もすぐイきそう
だけどな



入れただけで
イくのかよ笑
可愛いじゃん
たまんねえ♡

な?
言っただろ!!
俺のチンコ
絶対に気に入る
ってな♡



ああっ:
精液上がって
きた!!

出すぞっ!

いやっ!!
中はだめよ!!

おっ
おっ

もう
やめ



優斗...

あぁ...
あぁ...
んんん...

はな...
い...
あ...

お...
お...

あ...
あ...

あぁ...
中に出
れてる...

やぁ...
だめ...

んんん...
んんん...

あ...
あ...
あ...

熱いのせんぶ...
奥に注がれてる...

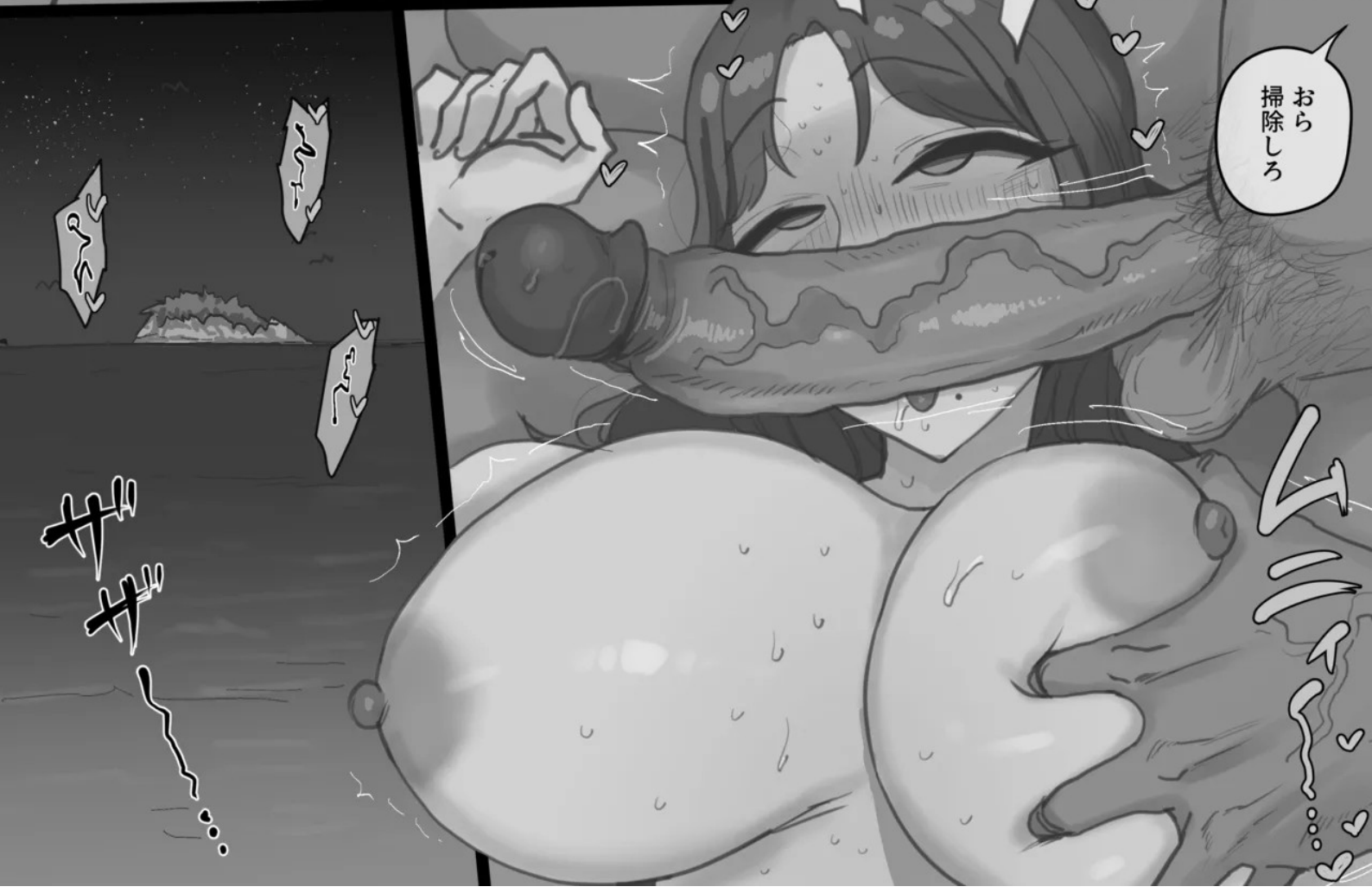


はあ…
最高…♥

…♥

よしこれで
救助代は精算完了
それとついでに…
明日の島への交通費も
前払いで貰っておくか

このまま
日が昇るまで
やりまくるぞ♥



おら
掃除しろ

…♥

…♥



あなたたちこそ
怪我はない？
みんな無事で
よかった

ええ
大丈夫よ

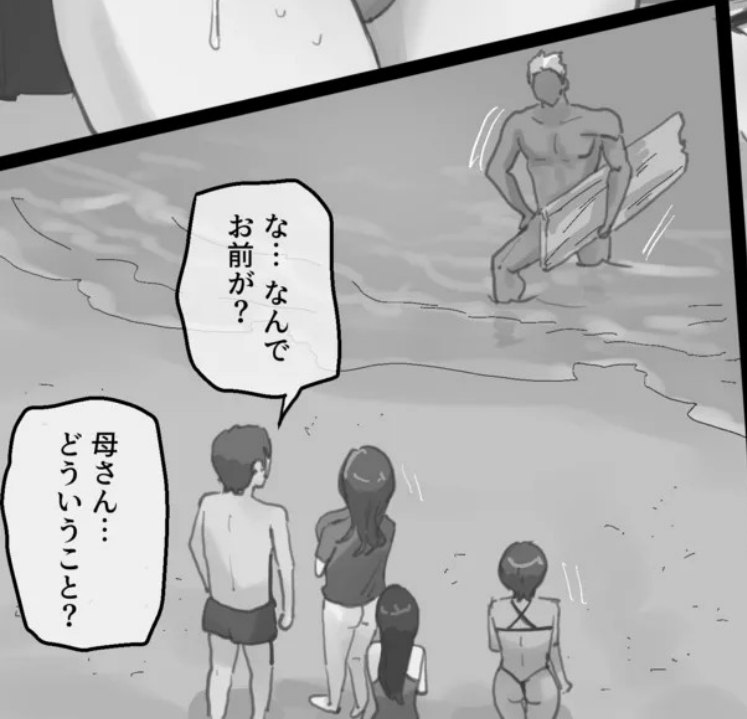
母さん…
どうやって
ここまで？
怪我はない？

母さん!!
おばさん!!



オイオイ
全員生きてん
のかよ笑

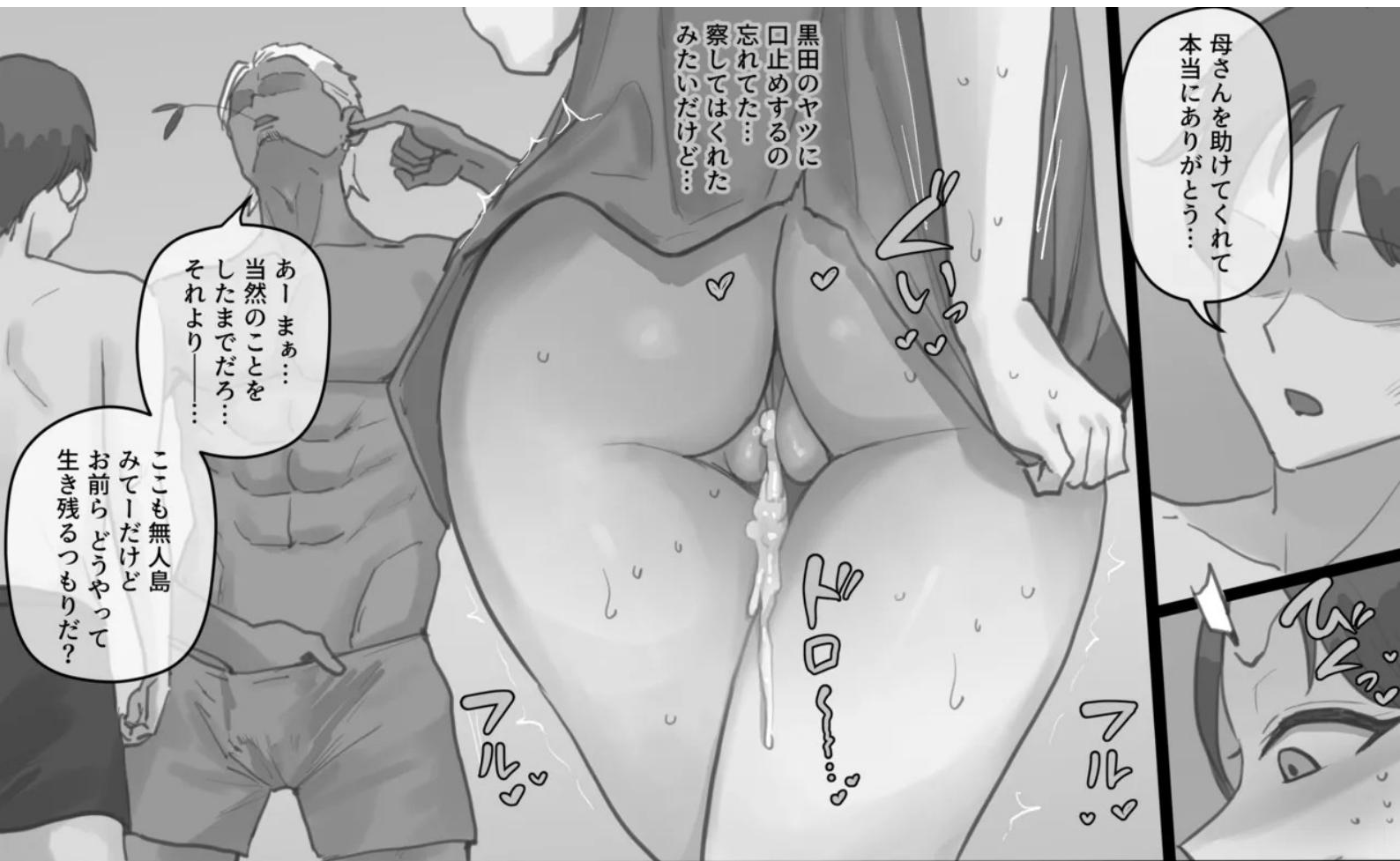
これぞ
奇跡って
ヤツか？



な…なんで
お前が？

母さん…
どういこと？





母さんを助けてくれて
本当にありがとう...

黒田のヤツに
口止めするの
忘れてた...
察してはくれた
みたいだけど...

あーまあ...
当然のことを
したまてだろ...
それより...

ここも無人島
みてーだけど
お前らどうやって
生き残るつもりだ？

フル♡

ドロ〜♡

フル♡



っ...
まだ精液が
垂れてきてる...

クソ野郎...っ
どれだけ中で
出したのよ!!

ドキ♡

んん♡

す...すぐ
救助隊が来るわよ!
あと少し耐えれば...

はいまだ状況が
分かってねえ
マヌケが一人笑

...もし救助隊が
永遠に来なかつたら？

はあ?
馬鹿なこと言わないで!!
今の言葉取り消さない!!

うるせーな
黙って俺の
指示に従え

まず
寝床の確保
からだ



まるで何度も
こうした危機を
乗り越えて
きたかのように
場を仕切っていた



アイツは
一切の迷いを
見せず



俺が本で学んだ
知識なんて
この場所では
ほとんど
役に立たない



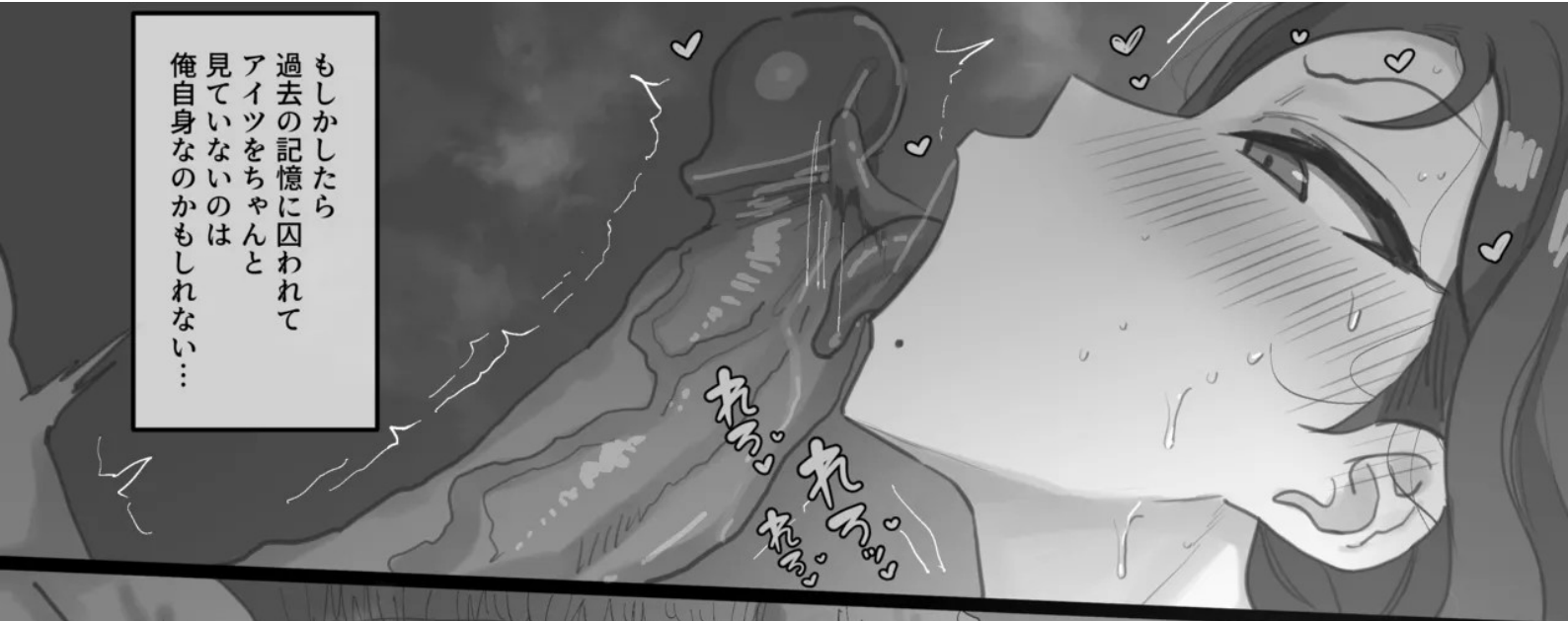
アイツが現れてから
彼女たちは
みるみる落ち着きを
取り戻していった



そして俺は
自分自身について
改めて考えさせられる
ことになった



もしかしたら
過去の記憶に囚われて
アイツをちゃんと
見ていないのは
俺自身なのかもしれない…



アイツは…
完全に違う人間に
なって帰ってきた



…にしても
黒田のヤツがあんな
役に立つなんてな

黒田くんね…
軍人のお父さんに
教わったそうよ…

今は本人も傭兵として
世界を回りながら
暮らしているとか…

えっ？軍人?!
それ本当?
どうりで
手慣れてるって
思った…

ちえっ…
それでも
気に入らないな
あの偉そうな
ドヤ顔…

ザザ?
ザザ?



おい優斗…
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる



おばさん
アタシね…
ポジティブに
考えるよ

救助隊が来るまでの
素敵なバカンスを
過ごすって
考えることに…





ザザー...

ぐんぐん

るんっ♡

待ちくたびれたぜ
アイツらは寝たか？

ほら
さっさと脱いで
こっち来いよ♡

昨日夜通しやって...
今日は二日中働いたのに
どんな体力してるの？



私を見るなり
勃起させて...
これが若さ
かしら...

うおっ♡
由佳ちゃんの
身体エツロ♡♡
やっぱ10代で
子供産むだけは
あるわ

うるせー！！



機嫌がいいわけ
ないでしょ…
毎日2回も射精
させてくれなんて
やりすぎよ…

そんだけ
由佳ちゃんのこと
好きってこったよ
その怒った顔も
可愛いね♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡



トニョ♡

とろ♡

おお…
えっろ…♡

でも昼からずっと
不機嫌そうだな？
先に取り巻を
持ちかけたのは
由佳ちゃんだろ



初めて会ったときも
28くらいにしか
見えなかったぜ？

…ふん！
20代だなんて
バカ言わないで…
そんなお世辞で
私が喜ぶとでも？

ぬちゅ♡

ドキ♡



心にもないこと
ばかり
言わないで！
大人をからかって
楽しい？

あ？本気だって
俺の同年代の
誰よりもずっと
若くてキレイだぜ
由佳ちゃんは

結局ただ私を
犯したいだけ
でしょ…

むちゅ♡
ぐちゅ♡



このクソ野郎！
うっ… 精液の匂い…

イク前に言えって
言ったでしょ!!

飲み込んだじゃった
じゃないの…!!



やめて!!
余計なこと
しないでっ!

そんなじゃ
本番いくか
由佳ちゃん♥



ああ…
クソ可愛い
キスしようぜ♥
舌だせよ

えっ?

黒田くん！
一回セックス
したくらいで
私を軽く見ないで

いい？
はつきり言っておくわ：
私は優斗の母親なのよ！
アナタなんかより
ずっと大人なんだから！

もう二度と気安く
由佳ちゃんだなんて
呼ばないで
おばさんって
呼びなさい！

約束どおり
今日2回目の射精
だったんだから
私はもう帰るわ

ん？
そうだったか？
ああこそ…
夕方フエラで
一発抜かれてた
んだっけな…

じゃあ
仕方ねえ…♥

えっ？



射精しないでセックスするしかねえな...

この...っ!
クソ野郎!!

俺はセックスしねえと眠れねえんだよ!
だからやろうぜ
由佳ちゃん♥

クリがぶつくり勃ってんぞ
由佳ちゃん♥
大の大人がそんな赤ちゃんみてえに泣いていいのか? ♥

クンニなんて恥ずかしくて死にそう...!!

あぁ...っ
そーだめ...っ

返事するまで止めねえからな♥

おお...っ

ったく...マジで頑固だな♥

いやよっ!
絶対に約束は守って! ♥

今日はだめえっ♥

ああだめもうムリ!!
イクっ♥
イっちゃう!! ♥

クソっ仕方ねえ...おらいけっ



イけっ
!!!!!!

ああ…結局…
また今日も
やってしまった

この男のセックスは…
強引で圧倒的…
女を無理やりイかせて
しまうセックス…

おおお
おおお
おおお

死んでも
認めたく
ないけど…



長い間
男を避けてきたせい
…だけじゃない…
この男のセックスは
明らかに他と違う

おおお
おおお

毎晩こんな快楽に
慣らされてしまったら
絶対に危険…

奥まで満たしてくる
この男のペニス…
抜けたときにこそ
空っぽになった寂しさを
思い知らせてくる…

おおお
おおお

だから
今日は耐えようと
必死だったのに…



今日一日中
この男とのセックスを
思い出していた
優斗と一緒にいるとき
でさえも…

おおお
おおお

この歳になって
いくつて感覚を
初めて知ったくらい
スゴかったから…

昼間は精子で子宮
パンパンにしな
ながら
よく平然と息子と
会話出来たなあ？

あれそそったせ
俺らだけの秘密
みたいでさ♡

そろそろ
日付も変わった
かもなあ？♡

一人でいくのも
寂しいだろ？♡

ケダモノみたい
に
私が私じゃなく
なっちゃらう…♡

おおっと♡
またマンコ
締まってんぞ

おおッ♡

あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡

あっ♡

ぬっ♡
ぬっ♡

ぬっ♡
ぬっ♡

ほん♡
ほん♡
ほん♡

あっ♡
あっ♡

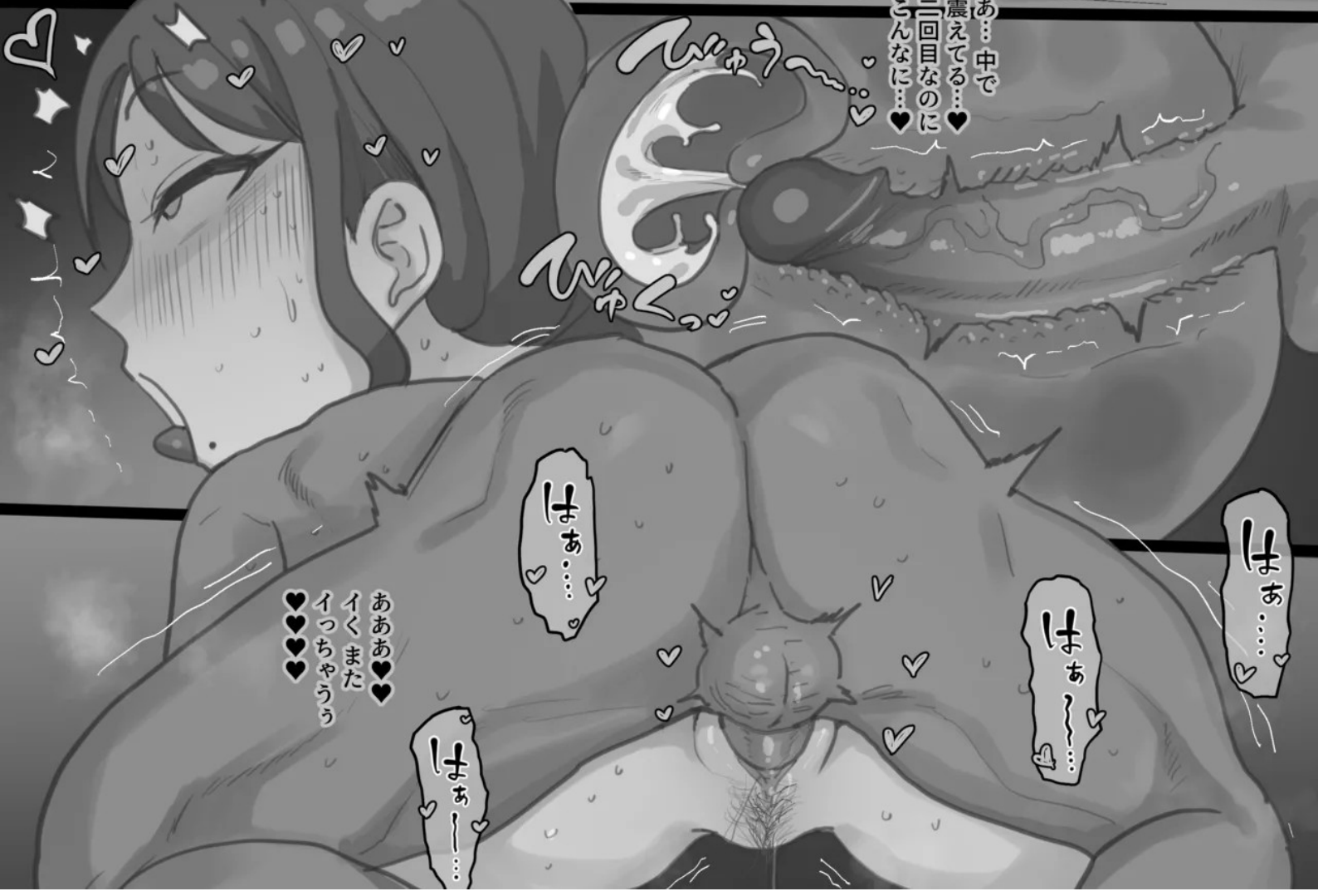


このクズ…
結局 最初から
中出しするつもり
だったのね…

ああっ
いくっ!!

お

お



あ…中で
震えてる…
二回目なのに
こんなに…

はあ

はあ

はあ

はあ

あああ♥
いくまた♥
イっちやうう♥
♥♥♥

うお〜…
やべえ…
中出し最高♥

おん
お
お

脳が溶け
ちやいそう…

こんなの
もう無理…

ぬ
ふ
〜

おいおい…
マンコが唾えこんで
放してくれねえよ♥

優斗ママは
チンポが大好き
なんだなあ♥♥

はあ…

あん

あ

DAY-15

キ
ア
ア
ア

バ
サ
バ
サ

無人島に漂流して
もう15日目――

救助の希望は
だんだんと
薄れていつて
いる



どうしたの
母さん?!
一体何が...?!

あ...っ
あれ...



一人だけか？
よほどついで
なかったんだな



もう半月も経つのに
救助は来ないし…
このままじゃ
私たちも…

?!



母さん大丈夫？
落ちていて
俺の後ろに—

黒田くん…
わ…私たち
これから
どうすれば
…？



そうよ！
どうするの？
何か案出し
なさいよ！

最近
明らかに母さんは
俺よりも黒田を
頼りにしている

おいガタガタ
うるせえぞ！
お前ら全員
俺に命預けて
んだらうが！

弱けりや死ぬだけ
当たり前だろ？

浜辺に戻って
夕飯の準備でも
してろ

俺はここで
後始末していく
からよ

そんな母さん
を見せつけられるのは辛い
が俺にはどうすることも…

優斗：
お母さんも残って
黒田くんを手伝うから
あなたは先に戻りなさい
気をつけてね…

美咲ちゃんと
涼子ちゃんの
お手伝いをして
夕飯の準備
お願い

優斗：

いや…
やっぱ一人
残って手伝え！

なんだ誰も
いねえのか？

おい優斗、
俺の魚は
カリッと焼けよ、
生臭いのは
勘弁だからな
ククッ



まだダメだよ
由佳ちゃん♥
俺の言うこと聞いたら
イかせてやるよ♥

えっ...?
なんで止めるの...
黒田くん...

っ...
いきなり
なによ...?

「黒田くんの
おチンポ大好き」
はい復唱♥



毎日執拗に
責められる
乳首も♥♥

カリカリ...
わん...
わん...



子宮に響く
感覚も♥♥
これ...好き♥

ズン...
あ...イク
イクイク
イクイク



あは...は...
冗談でしょ?
黒田くん...

早く済ませて
ご飯にしましょ?
あまり遅れると
あの子たちも
怪しむわ

イヤか?
なら明日から
3日間はセックス
おあずけだな...

何ポーっと
してんだろ?
さっさと服着な
由佳ちゃん

ぬざっ...♥

おい：
寝てんの？
由佳ちゃん

だめ：
なのに：

だめ：
言っちゃだめ：

く：
黒田くん：

黒田くんの：
おチンポ：
大好きよ

はあ...
はあ...
はあ...

やっぱ面と向かって
言われるとキくぜ
イイ子だな
由佳ちゃん

おッ

おッ
おッ
おッ

ああ：言っちゃった
すごいのがキちゃう
ごめんね優斗
お母さんイっちゃう
今日だけ許して...

おらマンコ締めろっ!!
ご褒美に俺の精子で
たぶたぶにしてやるよ

もう二度と
こんなはしたないこと
言わないから

んんん
んんん
んんん

ハハハ
相変わらず
弱いな

意地張ってないで
タップしなよ
優斗

ぐっ…
いやっ…
まだまだ!

昔は色々誘っても
相手してくれ
なかったくせに…

なんで急に
ガチになってんの?
もしかして黒田を
意識してるとか?

むぎゃ〜♡

アイツ…
別に問題も起こさず
うまくやってるじゃん

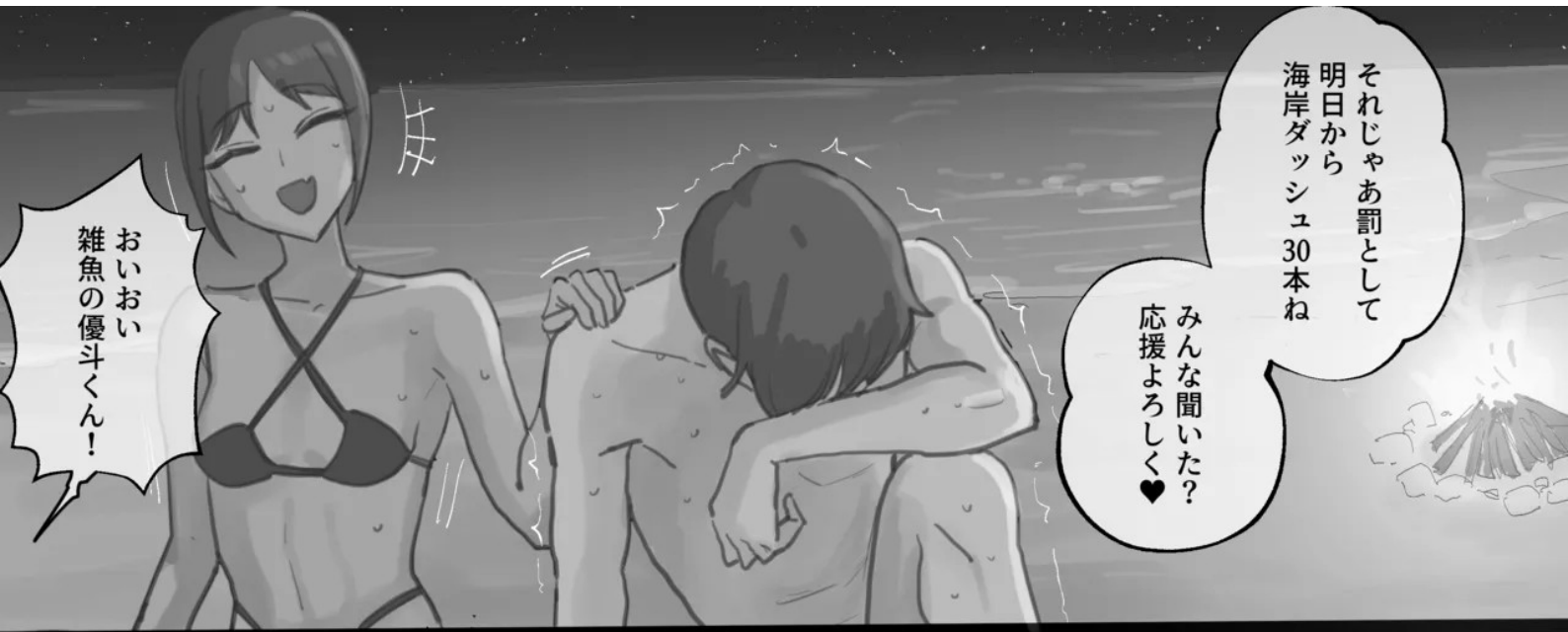
むしろ
黒田のおかげで
アタシたち
やっていけるし…

思ってたより
まともな奴
なのかも…

や…やめて
ストップ!!

パチ
パチ

…



おいおい
雑魚の優斗くん!

それじゃあ罰として
明日から
海岸ダッシュ30本ね

みんな聞いた?
応援よろしく♥



なんだ
偉そうに...

そんな
体重差も
考慮して...



馬鹿言うな!
これでもアタシ
プロだから

誰彼構わず
相手はしないよ!



女一人
倒せねえとか
致命的だろ笑
去勢でも
されてんのか?

涼子
俺とやろうぜ



俺は右手は
使わねえ

それでも
5秒ありや
楽勝かな?

...



ついでに
賭けようよ

5秒超えたら
全裸になって
アタシの股の間を
犬みたいにぐぐれ

女だからって
舐めてるみたい
だけど...

路上の喧嘩ぐらいしか
したことないアンタと
アタシじゃ格が違うから

別にいいぜ!
じゃあ5秒以内に
俺が勝ったら

お前のマンコでも
いただこうかな



にしてもアンタ
自分のモノに
ずいぶん自信ある
みたいだけど...

涼子!
挑発に乗るな!

ハハハ
心底イカれた
変態野郎だな
...好きにきな!

ドキ...

アタシは
デカくないと
男として
認めないから!!

おー
いきなりかよ?
じゃあカウント
スタートだ!

這いつくばる
準備を……

馬鹿な奴:
毎日男相手に
組み手して鍛えた
耐久力だ

いくらガタイが
良いからって
プロのアタシを
5秒でなんて
無理に決まってる

力で強引に
返そうとするほど
アタシに利がある

どうやって
食おうかな
最初はやっぱ
正常位か?

バックも
捨てがたいが

え?
いつの間に
右足を?!
ちよつと
待って!

は?

がし、

ダ
ダ
ッ

3

2

4

5

1



ああん

ガッ

涼子!!!

楽勝すぎだろ!!

なんだ今のは...?
あつという間で
目で追えなかった!!

おおー...
ケツでっけえな...♥
やっぱ鍛えてるだけ
あるわ

マン肉も
ぷりぷりで
美味そ〜♥

あん

ゆ：優斗!!
見るな!!

見たら
殺すよ!!

涼子!!
しっかりしろ!!

この状況で
まず気にするのが
優斗かよ?
匂うな〜?

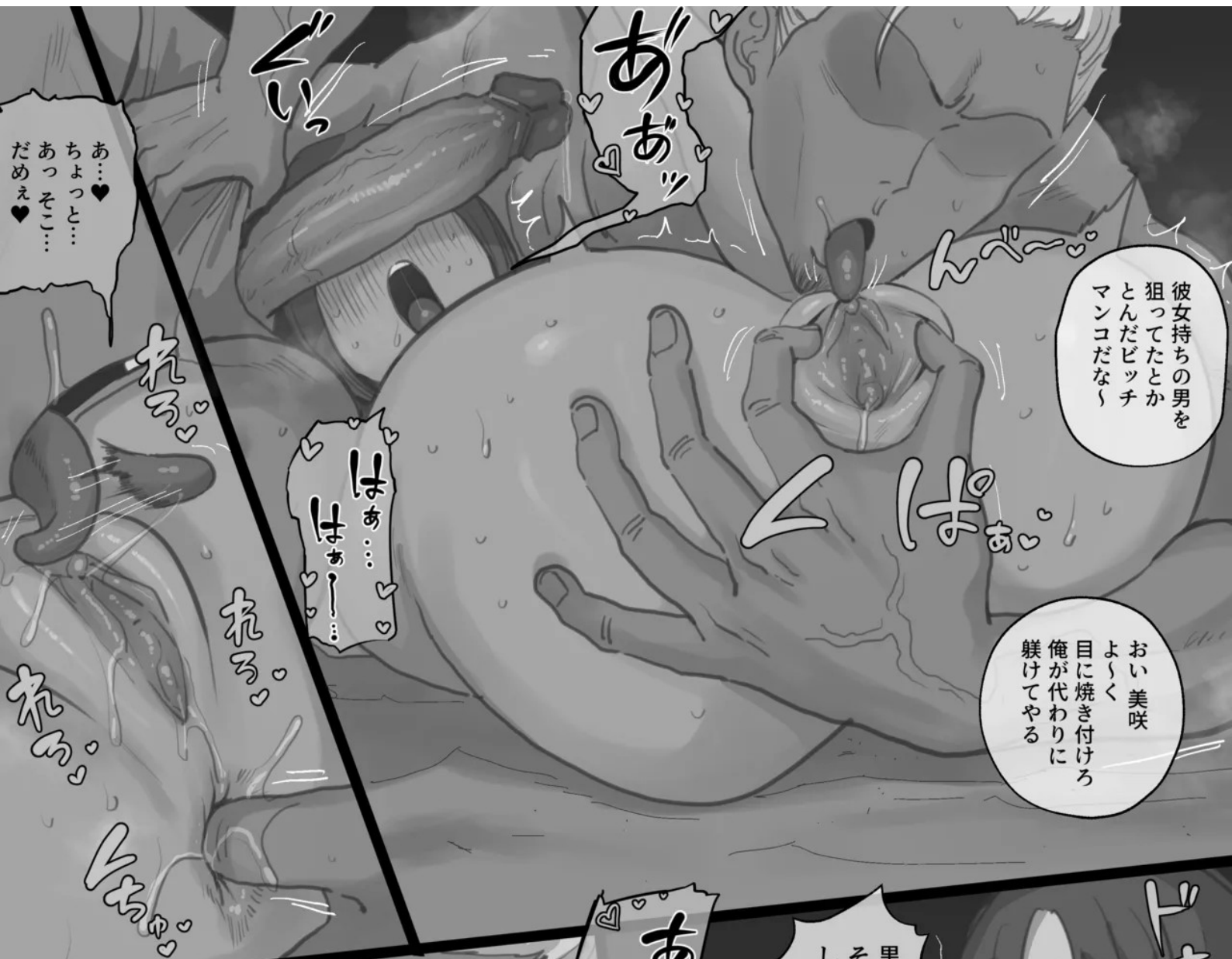
な...なに?
この大きさ...

そういや...
お前ガキの頃から
ずっとアイツに
付きまってるたな

ち：違うッ!
変なこと言うな!
早く放せ...ッ!
殺すよ!

も...
もう一回!
もう一回!
勝負しろっ!

お前...
優斗のこと
好きなの?



彼女持ちの男を
狙ってたとか
とんだビッチ
マンコだな

おい美咲
よしく
目に焼き付けろ
俺が代わりに
賤けてやる

あ...
ちよつと...
あつそこ...
だめえ

れろ

れろ

はあ...
はあ...!

あ
あ
あ

んべー

ぽ



黒田!!!
そこまでに
しろっ!!!!

あん

あ
あ
あ

口だけじゃなくて
かかってこいよ
いくらでも
相手してやる

後悔する間もなく
さっきの死体の横で
寝ることになるぜ
分かったか?

クク
ビビりすぎだろ
おしい優斗くん
先生でも呼びに
行ったらどうだ

ゆ...優斗には
手出すなよ
あつ
ころ...すよ...

ドキ

ドキ

ああこれ...
大きすぎ...
気持ち悪い...

頭...
おかしく
なる...

これだめ...
こんなのムリ...
子宮潰される...
壊れちゃう...

おん...
おん...

ん...
ん...

すっげえ締め付け...
やっぱぶくぶく
肥えただけの
マンコとは違うわ

ぽん...
ぽん...
ぽん...
ぽん...
ああん...

グチャ...

は...
は...

貧乳もたまには
いいな...
ちっせえ分
乳首敏感で
よく鳴くし

あっ...
ちよ...
ちよ...
ちよ...
と
待って!

ちっ
なんだよ
これからって
時に...
...ん?

ん...
ん...

グチャ...

グチャ...



やっば！
お前処女
だったのかよ?!
クハハハ
そのくせあんな
イキってたとか♡

こんな極上マンコを
放置してたとか
優斗お前インポか？

おおお...おん...

んお

ギョ

ズズズ

ギョ

あゝとんどん
締まってくる♡
すぐ気持ちよく
してやっからな♡



優斗！
待って！！

結局
何も出来ずに
逃げるだけかよ
ゴミだな笑

おん



これからは
発情期の犬みてえに
毎日犯してやる♡
一緒に楽しもうぜ♡
涼子♡

んお

おんお

おおお

あなたは本当…
救いようが
ないわね…

おっ
拗ねてんの？
第一夫人の
プライドか？
由佳ちゃん♥

おら来いよ
3Pやろうぜ
第二夫人
涼子の歓迎会だ♥

おばさん？

はあ
はあ…

あ…
もう…やだよ

ふか…
ああ

勝手にしなさい…
もう見たくもない…

照れてんのか？
なら先に戻ってろ
また後で可愛がって
やる♥

由佳ちゃんの
マンコに
寂しい思いは
させねえよ♥

んがッ

ががッ

たんたんたん

この：野郎
おばさんに
なにしたの?!

はあ：
昼はノリノリで
チンコ啜えてたくせに：
女ってこえーな♥

あんっ

おんっ

あれ：マジで
行っちゃった？

気にせず
楽しみやいのに
頭固いな♥

クス野郎あっ♥
アンタ：んっ♥
気狂ってんじゃ
ないの?!
死ねっ!!

んっ

あーっ

黙れっ!

そんなクスに
犯されながら
乳首ビンビンに
してるのは
誰だよ♥

おんっ

あーっ

考えてみれば
優斗は——
一度も逃げたこと
なんてなかったよね
だっていつも
アタシがそばにいたから……

優斗はアタシのこと
女として見てくれたこと
一度でもあったのかな……

美咲はいいな……
優斗の大切な人で
いられて

アタシのほうが
先に好きに
なったのに……

それでも——
待ってただよ
優斗がアタシを
見てくれるその時を

いつだって
優斗のそばで……



え？
なに？
この感覚！
イヤ！
邪魔しないで！！

変なのが…
下から背筋を
這い上がって
くる…

そうだ…
アタシ
今セックス
してるんだ！

ああ…
この感覚…
これが…
セックス…？

アタシ結局
ほかの男に
初めてを
奪われたんだ！

おめでとさん
これでようやく
女になれたって
こった♡♡

おおお
おおお
おおお





ほら…

おいで

優斗のせいじゃないわ

お〜い
由佳ちゃん♥
起きてんだろ？

一緒に
楽しもうぜ♥

お〜い

お〜い

お〜い

ぬちゅん

ぬちゅん

あああ

はぁ

あーん

ぬちゅん

ぬちゅん

はぁ

いや...
ダメ...
やめて...

ぐり

ふーん
あくまで無視か
ならこの関係も
終わりだな

今回は
マジだから
なく

翌日から涼子は俺たちの小屋には戻ってこなかった

さんざん強がってたくせに

もう自分から腰振ってんぞ

淫乱だな〜
涼ちゃん♥

俺は毎晩涼子と話そうと黒田の小屋に通ったが：

聞こえてくるのは涼子の喘ぎ声だけだった

イけ♥

おお

お

お

ぬちゅっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ

あ

ん

ん

あれは涼子を
失望させてしまった
俺への復讐なのか？

んざー

おざー

出すぞっ!!
もっとアナル
締めろッ!!

おざー

目を追うごとに
変わっていく
涼子の姿に
頭がついていかない

ああ...
めっちゃ出た...
最高♡

ククッ
おい 優斗の
あの呆けた顔
見てみるよ

れろ

それでも
諦めるわけには
いかない

昼から
ほぼぶっ通しで
やったのに
まだガチガチなの？

こんな
エロいケツ
見せつけられて
我慢できる男
いねえよ

変態野郎

あーっ

ぬふっ

くっ！

いいだろ？
涼ちゃん
早くやろうぜ
次はマンコに
挿入れっから

ほんとイかれてる…
アンタお猿さん？
もう寝る時間だって

メスより
先に寝るとか
オス失格だろ

ぬちっ

んっ

膣内とろっところで最高
マンコ気持ちいいか？
涼ちゃん♥

涼ちゃんのベロ
柔らか〜♥

あんっ♥
気持ちいい…
セックス好きい♥

はぁあぁあ…

お前のこんな
エツロい顔
優斗は絶対に
見れねえだろうな♥

キスも
好きい…♥

ポルチオ
こねられてる
メスのトロ顔♥

涼…

あん…
また…

なあ涼子!!
出てきてくれ!
せめて話だけでも!

ねえなんで
毎晩小屋の前
うろついてんの？
アンタ変態？

おいおい優斗
お前そんな趣味
してたのか？

外で話そう
涼子…

優斗見える？
黒田のチンコが
ずっぶり刺さってて
出られないの♡

入っていいぞ
中でシコってる笑

れろ♡

ぬち♡

涼子…
戻ってきてくれ
みんな待ってる
んだ…

アンタのって
コイツのよりデカイ？
見せてみなよ
デカけりゃ話したげる♡

見せる度胸も
ないなら失せろ
邪魔だから♡

…

おばさま：
お手洗いにいったきり
全然戻ってこない！
どうしたのかしら…？

あっそこ♡
気持ちいい♡
もっとな…っ♡

はあ…っ♡
はあ…っ♡
はあ…っ♡

あっ♡

あん♡

優斗あなた
女々しいのよ…
黒田みたいに
もつと男らしく
しなさい…

黒田みたいなチンピラより
卑屈で根暗なあなたの方が
もつと嫌い♡

あっ♡

プライド無いの？
涼子にこんな扱い
されてるのに…

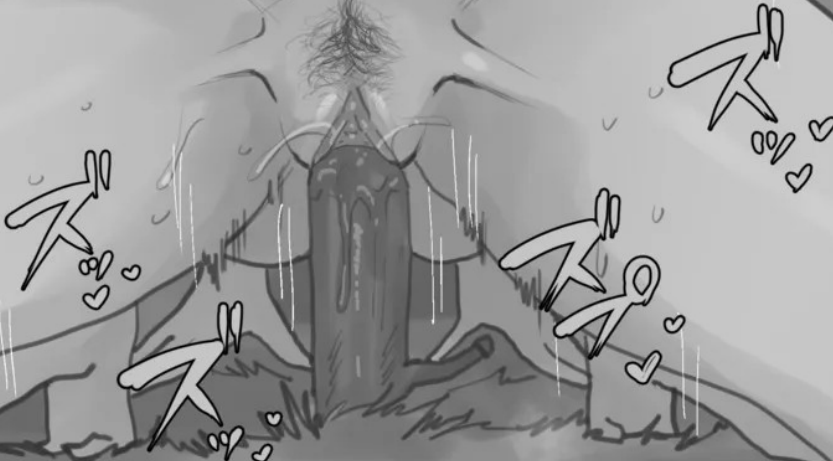
「戻ってきてくれ」
なんて泣きつくなんて…
母親として情けないわ♡

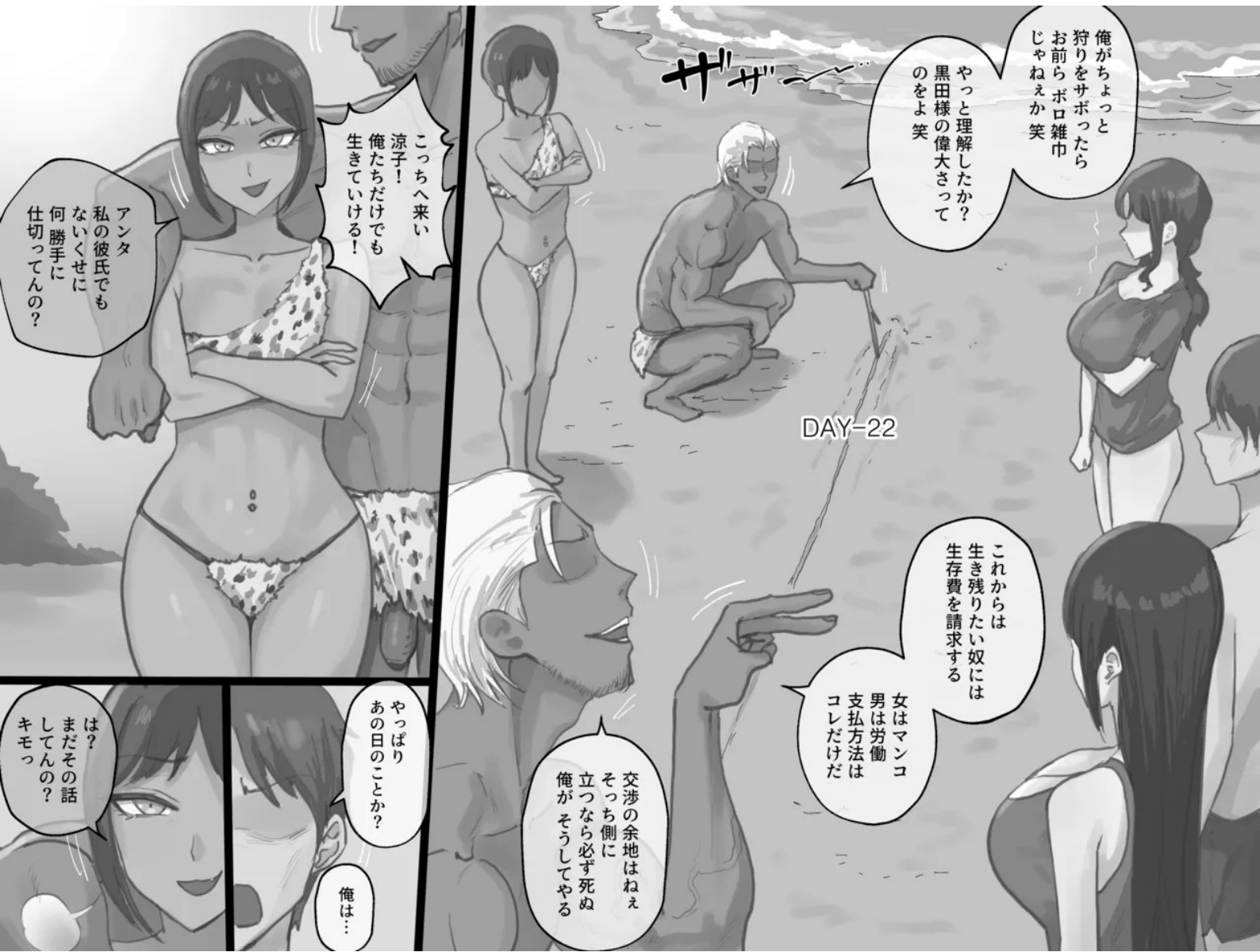
ああ♡

んうっ♡

ほんとダメな子…♡
馬鹿なヤツ♡♡♡

あ♡





俺がちよっと
狩りをサボったら
お前らボロ雑巾
じゃねえか笑

やっと理解したか？
黒田様の偉大さって
のをよ笑

DAY-22

これからは
生き残りたい奴には
生存費を請求する

女はマンコ
男は労働
支払方法は
コレだけだ

交渉の余地はねえ
そっち側に
立つなら必ず死ぬ
俺がそうしてやる

やっぱり
あの日のことか？

俺は…

こっちへ来い
涼子！
俺たちだけでも
生きていける！

アンタ
私の彼氏でも
なくせに
何勝手に
仕切ってるの？

は？
まだその話
してんの？
キモっ

そうそう
実際にやってみたら
セックスって
最高だったよ♡

それともこう
言ってみてやらないと
分かんない？
弱っちい男には
心底うんざりなの♡

反論ないなら
これで終わりね
アタシたち
今から昼食だから♡

それに黒田を選ぶ理由なんて
他にもいくらでもあるし♡

そうだよ…
僕は大事な
男じゃない…

…でも
周りの人のおかげで
今まで生きてこられた

俺には
涼子が必要なんだ…
いつでも戻ってきて
ずっと待ってるよ…

はいはい♡
じゃあ回れ右して
美咲のおっぱいでも
吸ってなクズ♡

俺にとって涼子は
家族も同然だから



たとえ
ここで死ぬことになっても



もう十分でしょ
優斗はずっと
あなたを心配してたわ
自分を責め続けながら…

あの日のことだって
挑発に乗った
あなたにも
非があるでしょう
だからいい加減
戻ってきなさい

こんな姿
あなたらしく
ないわ

あんなクズのせいで
あなたまで
下衆に墜ちる必要は
ない





じゃあ
アンタから
死にな!!

金持ちのお嬢さまには
命が二つもあんの?

何してるんだ!!
やめろ涼子!!

あぐ...

そのムカつく口
二度と開かなくして
あげよっか?!



言ったはずだよな?
もうお前らは
庇護の対象じゃねえ

早い者勝ち
だぞ~♥

優斗:
俺の女から離れて
後ろへ下がれ♥

はい注目!
優斗くんの命
売ります♥
支払方法は
マンコのみです

あゝあ...
誰もいらねえ
ってよ...
そんじゃ



黒田くん
ダメっ!!

やっぱり…
この状況を
狙ってたんでしょ?

5年前から
まったく
変わってない

いいわ…好きにすれば?
あの頃からずっと
私が欲しかったんでしょ?

ただ一つ覚悟しなさい
私たちを敵に回したら

今後お前には
安らかな夜は来ない

お前本当に
涼子を信用
しているの?

は? 美味…
まだ分かんないの?
アタシはもう二度と
アンタらの元には
戻らないんだよ!



これから先
皆には指一本触れずに
私だけを相手しなさい

ただし
お前が一瞬でも
眠ったら殺す

どう?
取引する?

ぬぎっ♡



美咲
ダメだッ!!!!

美咲:
やっぱりお前は
俺が本気で惚れるだけの
価値がある女だわ♡

にしても
イイ体だな♡
ハメるには
もってこいだ♡

オーケー取引成立♡
命がけの戦いならあるが
命がけのセックスは
流石に初めてだ♡
ゾクゾクするぜ♡



…
フッ



フフ…
フフ





何だよ…
たった一日か二日で
終わると思ってたのか？



むっ
んっ



ぶいっ

ぶるっ

そんじゃあ
思う存分
楽しもうぜ
よろしくな
美咲♥



まさか軍での
地獄のシゴキが
こんな形で
役立つなんてな…

俺の不眠記録は
最長6日間だが
お前はどこまで
耐えられる？



DAY-22

美咲との取引
1日目

なんでアタシまで
拘束されるの？
まさか美咲の妄想を
真に受けてるとか？
ほんとムカつく!!

協力するって！
美咲なんて
さっさと墮として
アタシとやろうよ！

ははっ
心配すんなよ
涼ちゃんのことほ
マジで信頼してる♥
ただ美咲の条件に
ノってやってるだけだ
ゲームは公平性が
命だからな♥

じゃあ美咲が
調子に乗らないよう
ちゃんと分からせてよ！

ククツ
わかったって〜♥
もうちよい待ってろ
パパッと終わらせて
遊んでやっからよ♥♥

こいつ...
確かに気がかりね

恥ずかしがり屋の
乳首ちゃん
みくつけた♡

まさか涼子まで
拘束するなんて...

ほらほら♡
乳首ちゃん
出ておいで♡

れろん♡

れろ♡

むい♡

優斗...大丈夫よね?
勝手なこととしてごめんね
でもこのままだと
こいつがおばさまにまで
手を出すのは
目に見えてるから...

私が
殺してやる...
絶対に...

あそうだ...
お前優斗と
やったことあんの?
初めてはいつよ?♡

ちゅる♡

答えろよ
美咲♥

美咲…
昨日の
大丈夫だった？
俺初めてで
緊張してさ…

うん…もちろん
気持ちよかったよ♥
全然痛くもなかったし

そうだ…!!
次の日曜日
私の家来ない？
誰もいないから
…♥

本当？
行くよ!

おっ
もしかして今
初体験の時
思い出した？♥

あ…

それと…
多分その日は
安全日…かも？♥

ダメ…
危ないよ！
ちゃんと
ゴム用意
するから

え…優斗は
シたくないの？♥
私なら大丈夫だよ
優斗が望むことなら
なんでもしてあげる♥

はは…
そついうのは
結婚まで
取っておこうよ

あ〜ん♥

またな
乳首ちゃん♥

黙って…
その汚い口を
開かないで

ほら見ろよ♥
乳首出して
やったんだぜ
挨拶しろよ♥

…ふんっ
あくまでも
無視決め込む
つもりか？

くっっっ

ノってくれた方が
すぐ射精できるぞ？
そしたら疲れて
眠くもなるだろ？
協力するのが
吉だと思うがな♥

もっかい聞く…
これ好きか？♥
興奮したか？♥

はあ…情けな
たかが乳首が片方
見えただけで
馬鹿みたいに喜んで…
お前こそ
好きすぎじゃない？

優斗よりも
時間かかってるし
こんなもの？
まったく感じ
なかったけど？

あ…
マジか？
ククッ



あー…
えっろ…♥
健康なメスの
ニオイ♥

うあつ…
なに…っ!

スッ
スッ

このクズ野郎
何してるのっ?!

マンコ検査

おっまったく
濡れてねえ…
スゲエじゃん
マジで感じて
ねえの?

ほあ♥

きれいな
ピンク色♥



やだっ…

ちんぽ♥

ちんぽ♥

チンコ爆発
しそうだわ笑



殺す殺す殺す…

ぬるぬる♥

なるほど、
美味のマンコは
こういう味ね♥



そんなトコを
回で…?
気持ち悪い…

ぬるぬる♥

優斗にクンニ
されたことある?
まあこの反応だと
なさそうだな笑



汚い指で
そこを？

アイツのサイズで
慣らしてみっか？

それとも
二本か？

指一本…？

ん…
膣内は
濡れてるか

ぬふっ♡

女性への敬意なんて
欠片もない最低男！

こんなのを
好きになる女
いるわけないっ！

ん…♡



耐えるっ!!
耐えないと!!

ちゅる♡

おっと
この締めりは
二本で当たり♡

しかし
指二本分って
粗チンすぎだろ

お見つけた
ここだろ？
ククッ

ちゅる♡

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡

最悪の展開だ！
アタシ一人でも
あと少しで
やれたはずなのに…

やっぱり美咲も
アタシと同じ考え
だったんだ！

このクズ
無駄に用心深い！
あれだけしたのに
まだアタシを
信用してないのか！

絶好のチャンスを逃した！
この首輪さえなければ
簡単に殺せただろうのに！

ちゅるるるっ

よく耐えれんな？
そこまで意固地になる
必要ねえのに

どうする？
おばさんも
限界が近いかも
しれない！

うお…見ろよ
糸引いてんぞ♥
指がふやけちまう♥

ぬちゅん♥
ぬちゅん♥
ぬちゅん♥
ぬちゅん♥

覚悟しろよ
俺のは優斗のとは
次元が違うぜ

なによ
このサイズ
気味が悪い...

あらら...
さっきまでの
余裕な表情は
どこいった?

1分ももたずに
ぐずぐず泣きながら
後悔することになるぞ

クリも
ぶっくりじゃん
美味♡

ふざけないで...

ああ
ふっふっ

ドキ

ああ...
やだ...
田

ぬふっ

ふっふっ

ふっふっ

ああ…♡
チンコ溶ける♡
美咲マンコ
最っ高だわ!

よく覚えとけよ
この太さも形も
膣内に刻みつけて
やる

ギゅんん♡

これ…嘘でしょ?
触れちゃいけない
ところにまで
届いてる…

あああ♡

優斗は届かないどころまで
無理やり押し込んでくる…

吐きそう…

体温より少し
高いくらい温かさ…
ヒタの感触を損なわない
完璧な濡れ方…

オーダーメイド
かっけくらい
キツキツな上に…
チンコに絡みつく
ヒタ…

そしてこの膣圧…
ただ狭いだけのとは
レベチだ…

嘘だろ?

動いてねえのに
マンコがうねって
搾ってくる…

ぬぢゅ♡

なっ?!

ちよっ…
なんだよ…
このマンコ…

あっ♡



は？
このクズ!!
勝手に奥で!

おおおおっ
クソッ!!!!
♡♡♡♡

大きいからって
イキってたくせに
優斗より
早いじゃないの...

うおお...

いいわ...
せいぜい今のうちに
できるだけ長く
味わっておけばいい...

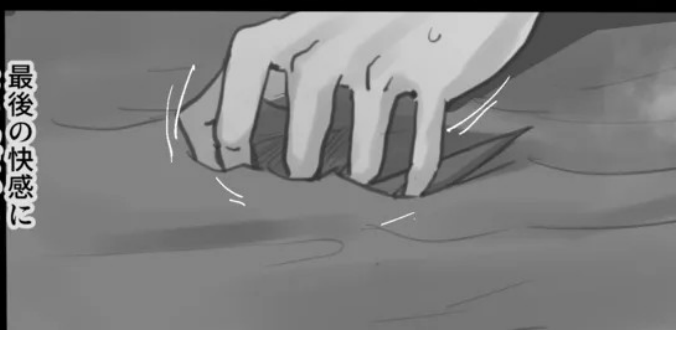
ひゅん
ゆん
るん
るん

んんんんん

んんんんん



フッ



最後の快感に
なるんだから...

死ねっ!!

おっとし?
なに焦ってんだよ♥
俺はまだ寝てねえぞ♥

にしても
お前のマンコ…
一体どうなって
んだ?♥

今まで何百人も
抱いてきたが
俺を早漏にする
マンコなんて
初めてだわ♥♥

ガッ

どいっ♥♥

涼子…
俺たちまだ
友達だよな?

やっと見つけた
俺のチンコに
ドンピシャの
マンコ♥

美味…♥
やっぱりお前は
俺の女になれよ♥

ゆ：優斗?!
目が覚めたの？

優斗!

やっぱり…
俺の知ってる涼子だな
どうして相談してくれ
なかった…

美咲のこと
本当にごめん…
アンタにあんな
酷いことしたのも…

黒田の信頼を
得るために
仕方なくで…

アイツ：
アタシが寝てるか
頻繫に確認するほど
だったから…

アイツを完全に
騙そうとしたせいで
全部台無しにして
しまった…

いや…
まだ終わってない
これ：隅で
見つけたんだ

受け取って…
美咲を救ってくれ

頼む…
母さん…
涼子…

この悪夢を
終わらせてくれ…っ



黒田くん
逃げてっ!!

お：おばさん
なんで：っ？

?!



で…
どうすんだ？
もう一回
試してみるか？



ズル…

どうやって解いた？
やっぱ女なんて
信じるモンじゃねえな



ああん？



由佳ちゃんが
守ってくれたのか
それで涼子は
俺の首を狙って
失敗したと？





つこの…
クス野郎…

ハハハハハ
あー腹いてー
可愛いすぎだろ



クハハハハ
んだよその顔?!
マジウケるわ
ビビった?
ビビっただろ?

冗談だよ冗談!
まさかチビって
ねえよな?



母さんっ!!
なんでっ?!
何してるんだ!!
母さんっ!!

どうしてッ
!!!!



母さんッ!!!



これで2対0
俺の連勝だな笑
イヤな思い出も
あるだろーが
俺との一週間
楽しかっただろ♡

落ち着いたら戻ってこい
俺涼ちゃんのアナルは
絶対忘れねえからさ♡



…ふうん
俺には
別の理由が
あるように
見えるけど？



え…？
黒田くん…
なに…？



ご…ごめんね…
優斗…でも…
あなたはいつも
優しい子だった
じゃない…
こんなのあなた
らしくないわ…

黒田くんは
命の恩人だし…
その…だから…



そろそろ話してやるか
俺たちが初日から
つい一週間前まで
どんなふうにも
過ごしてたのかをさ

ほら見ろよ
自分の息子を
殺そうとした男を
ママがかばうなんて
理解できないって
顔してんだろ

…



由佳ちゃん♥

クソ野郎ッ!!
汚い手で
母さんに触るな!!!

一回でいい
たった一回
素直になれば

また前みたいに
気持ちいいこと
たくさんできる
んだぜ?



あは...は...
く...黒田くん?
何のことかしら...
よく分からないわ

私はただ...
助けてもらった
借りを返しただけよ...



だったらさ...
自分の欲望に
正直になって
楽しんで方が
いいだろ?♥



俺たちは
この島から
絶対に出られない



森で死体を見つけたあの日も

黒田くんのおチンポ大好きって言ってたじゃん♡

はぁっ♡

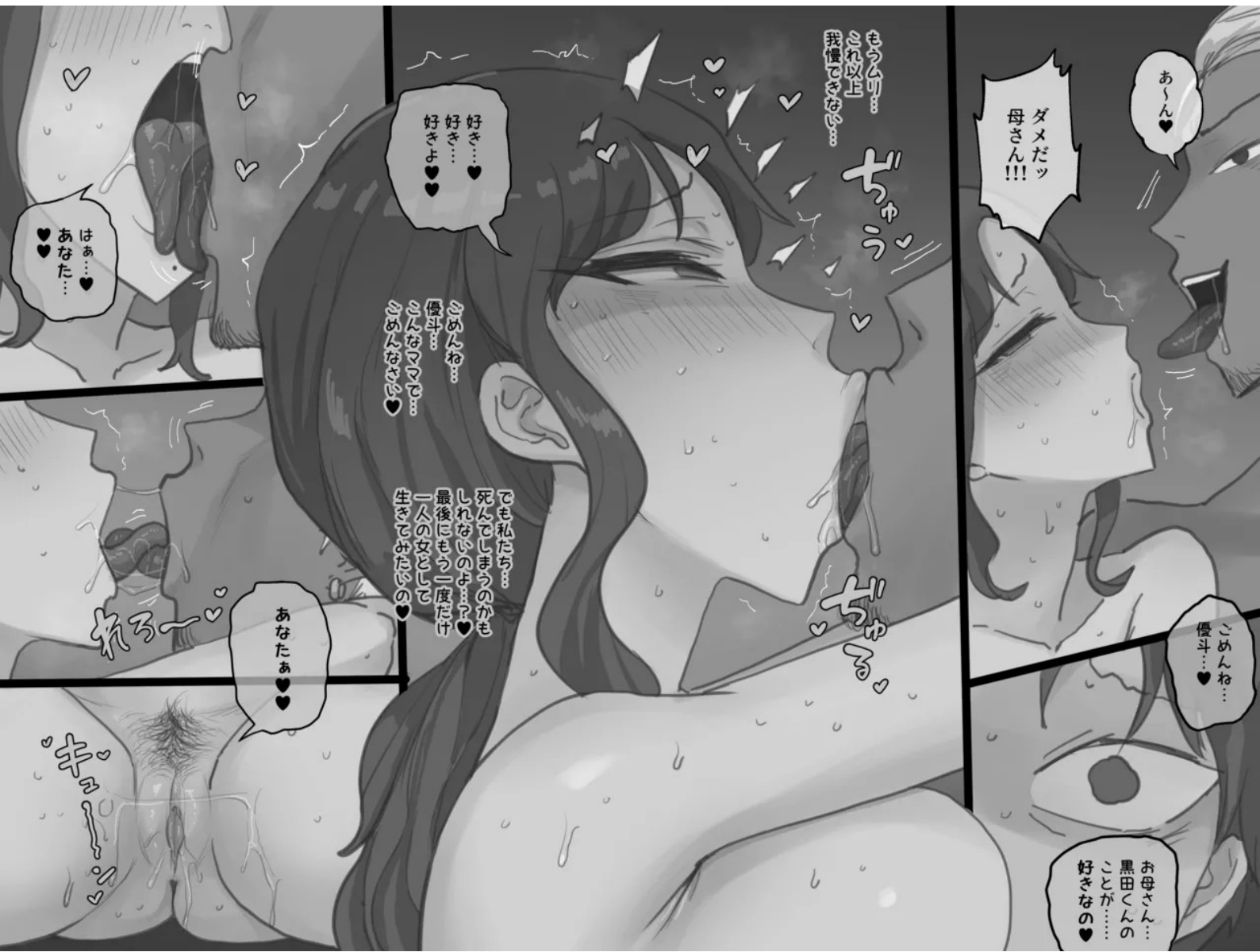
あー♡

素直になれってあの日みたいになりたくらいなんだろ？由佳ちゃん♡

ああ…♡♡♡
し…したい…♡♡♡
セックス…したい…♡♡♡

む…♡♡

イイ子だ♡
なら自分からコレしてみろ♡



あ〜ん♥

ダメだッ
母さん!!!

ごめんね…
優斗♥

お母さん…
黒田くん
ことが…
好きなの♥

もうムリ…
これ以上
我慢できなげ…

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

好き…♥
好き…♥
好きよ♥♥

ごめんね…
優斗…
みんなママで…
みんなささい♥

でも私たち…
死んでしまうのかも
しれないのよ…?♥
最後にもう一度だけ
一人の女として
生きてみたいの♥

あなたあ♥♥

はあ…♥
あなた…♥♥

れるー♥

キッ
キッ
キッ

じゃ〜ん♥
俺から
由佳ちゃんへ
のおかえり記念の
プレゼントだ♥♥

これから優斗の前で
本物の『女』になった
ママをお披露目
しましょう〜♥

心の準備ができたなら
自分でお尻を下ろして
チンポを挿れようね〜♥

はぁ〜
はぁ〜

ぬちゅ〜

はぁ〜
はぁ〜

はぁ〜
はぁ〜

母さんっ!

ドキ

ドキ

ああ

ソイツだけは
だめだツ!!

私が黒田くんの女?
ドチドキしちゃう〜
うれしい〜♥

はぁ〜
はぁ〜

あ
あ
あ

イクゥゥッ
イクゥゥッ

もうかよ笑
おらもっといけっ♡
優斗に聞かせてやろうぜ
由佳ちゃんのオホ声♡

そうすりゃ
アイツも俺たちのこと
認めてくれるだろ♡

あなた…
あなたあ♡

ああっ！♡
イクッ
イクゥゥ♡

お
お

イクゥゥッ
イクゥゥッ

お
お

お
お

お
お



DAY-23

美咲との取引
2日目

優木

どっ…
どうして…
おばさまが…？

よお美咲
やっとお目覚めか？
待ちくたびれたぜ！



優斗ッ!!!

涼子!!
あなた何をしてるの?!
まさか本当にこのクズに
屈服したっていうの?!

何を考えてる
のよっ!!

このクソ野郎!!
私以外には
手を出さないって
約束でしょ!!!

どこまで
腐ってるのっ?!

ま...まさか
お前...
優斗の前で...
おばさまを...?

まあ...
そうなっちゃ
ったなく笑

勘違いすんなよ
誘ってきたのは
由佳ちゃんからだぜ
妻のお願いは
断らないのが夫の
甲斐性ってもんだろ

デタラメを
言うなっ!
ゴミクズ野郎!
絶対殺すっ!
死ねっ死ねっ!!

はいはい
殺したい
よな? 笑

なら黙って
俺のチンコを
喜ばせろ!!

俺が気絶するくらい
根こそぎ搾り取る
ことだけ考えてろ!
この肉便器がツ!!

ハハハッ
もう精子が上がって
きやがるツ!♥♥

あああ

その調子だ!
この極上マンコで
俺を屈服させてみる
美咲!!!

殺す!!
殺してやる
!!!

いいわ...っ
お前の挑発に
乗ってやる...

つくう...
あぶねえ♥
ギリギリ耐えたぜ
また秒でイカされる
とこだったわ

ほん
ほん
ほん

ほん

バカ面晒して
気を失うまで
何度だって
イかせてやる…

おおっ
せつま!
ンだよこの
圧迫感!!

わぎとマンコ
締め付けて
やがんなっ!!

むにゅん

ぬふ
ぬちゅ

ぬふ
ぬちゅ

ぬちゅ
ぬふ

ぬちゅ
ぬふ

ぬちゅ
ぬふ

6分 経過

なによ…?
こいつ
なんでまだ…

どちゃ

こいつは
最高のマンコに
化けるじゃねえか
なあ美咲?

危ねえ…
この射精感を
味わいつつ
耐えさえすれば

3分 経過

この感じなら
そろそろ…

早くイき
なさいよ!!

くっそ!!
ダメだっ!
耐えろ!!!

いや...
それよりこいつ
最初からずっと...
同じペースで
同じトコばかり
突いてくる...

カリの出っ張りが
中をエグって
気持ち悪いくらい
刺激してくる

レンガを積みみたいだに
一つずつ快感を
積み上げられて...



ピストンが
速くなった！
奥が変な！

息が乱れる！
どうすれば？

ああ…
美咲マンコ
たまんねえ

おろ？
乳首がピンピンに
勃ってんぞ？
マンコもイキそう
なんだろう？

正直になって
いいんだぜ

なんでそんなに
必死に腰振ってるの？
こんなことで
私を感じるんでも？
頭が悪すぎて
こっちが泣きそう笑

今回はそこそこ
長持ちね？
早漏の分際で

正直に言ってあげる
優斗と比べてると
お前のセックスは
お粗末すぎるのよ

あゝはいはい♡
優斗には
イかせてもらった
ことないんだろ？♡

おお

いっ♡

んっ♡

ち…違う…
この…
クソ野郎…

黙って…
早く…
終わらせ…

かわい〜ねえ♡

おおっ…
マンコの奥
ヤバいくらい
ヒクついてやがる
完全にイってるな
美味しい♡

んぎゅ



体が言ってる
聞かなさ...
いくのが
止まらなさ...

なんでも...
どうして...
こんな奴に...

グズ

んお...おお

たん たん

たん たん

おおお



いけっ!!♥

いっちまえ!!!
美咲ッ!♥♥

イヤだ...
やめて!!!

やめて!!!

あ あ

あ

あ

あ

おお

もう何回も
いってるのに...

あま...
また...

い



おおお
おおお
おおお
おおお

出すぞッ!!!
♥♥♥

ああああ
♥♥♥
美咲マンコ
♥♥♥
やっべえ
♥♥♥
♥

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

むっ
ちっ
♥♥♥





ハハハ
終わった途端
しゃぶりついて
くるとか♥

よっほど
チンコに飢えて
たんだなあ？
由佳ちゃん♥

ちんぽっ
ちんぽっ
ちんぽっ



あゝ最高：
チンコが萎える
暇もねえわ♥♥

これが
パラダイス
ってやつか♥♥

調子に
乗るなよ

ちんぽっ
ちんぽっ
ちんぽっ

自分ひとりだけが
大層な犠牲でも
払ってるつもり?!
悲劇のヒロイン
ぶるなっ!

あの日の夜も
アタシを心配する
優斗を誘惑して
やってたくせに♡

うあっ
なによっ
?!!

ぬちゅ

アンタが
出しゃばるから
黒田を殺し損ねるし!
全部アンタのせいで
台無しよっ!

優斗聞いてる?
ほらこの音
美咲のマンコ
えっちな汁で
グチョグチョ♡

さっきまで
黒田のチンポに犯されて
アンアン喘いで
いきまくってたよ♡

アンタと
してた時とは
大違い♡

こんな雑魚マンコが
アタシに説教とか♡♡

ぬちゅ

あの時
マジで殺して
おけばよかった♡

そうすれば
優斗は昔みたいに
私のモノになって
たのに♡♡

どうせこんな島で
人一人殺したって
誰も気づかない
でしょ？
アハハハ

早まるな涼子!!!
取り返しが
つかなくなる!!

黙れば〜か!!♡
アタシじゃなくて
美咲なんかを選ぶから
こんな目に遭うのよ♡

ハハハハハ
いい気味♡
このクズ野郎

あぁ...♡

アタシのモノに
できないなら:
アンタのことも
誰のモノにも
させない♡♡♡

黒田!!
美咲をぐちゃぐちゃに
犯して
完全にアンタのモノに
しちゃえ♡♡

あっ!!!♡
そう...そうだ!
いいこと
思いついた!♡♡



さっすが
涼ちゃん♥
俺は信じてた
ぜ〜♥

これから
美咲のことは
私が監視するから
あの女のせいで
寝不足になったら
ウザいし♥

ギョッ♥

痺れるぜ涼ちゃん♥
じゃあ一緒に美咲を
ぶっ壊しちゃおうか〜♥



涼子ッ!!
ちよつと待て…
話を聞いてくれ!!

はあ? これ以上
何を話すことがあんの?
アタシはやれるだけの
ことはやったし
もうウンザリなの!

疫病神の美咲に
これ以上
振り回されたくない
これが私の本心

ちよっ
ちよっ
ちよっ

アンタらの
尻拭いをして
アタシに
何の得があんの？

クッ…

おっ
い
優斗

今お前が
気にすべきなのは
涼ちゃんじゃなくて
こっちだろ

あーっ

こんな調子じゃ
いつまで経っても
俺は殺せねえぞ？
ククク

おい美咲♥
自分が言ったこと
覚えてるか？

えへへ♥

美咲はもう
俺のチンコに
ゾッコンみたい
だぜ♥

うん
うん
うん
うん
うん

下品な女に
成り下がるくらいなら
死んだほうがまし
だとかなんとか

でもお前
感じてたろ？
俺のチンコで
ガッツリ
イきまくってよ

あ
っ
っ
っ

ニ
ニ
ニ

ぬ
ち
ゅ
っ

あ
ん
っ

キ
ゅ
っ

まあまあ落ち着けて
数回イったくらいで
下品だなんて言わねえよ
俺のイチモツを味わえば
誰だってそうなんだから

あのなあ：
体は正直に
快感を求めてるくせに
それを否定して
誤魔化そうとする：

その
往生際の悪い
態度こそが
何よりも
下品だって
言ってるんだよ

ち：ちが：っ
違う！！
デタラメ言うな！！

由佳ちゃんも
涼ちゃんも
そうやって
強がってたなあ

だけど
今は違う

外の世界でお前らを
縛り付けていた
『友達』だの『母親』だの
『彼女』だの…
そんな邪魔な肩書…

本当の自分と
向き合わないやならねえ
この場所じゃそんなモン
クソの役にも立たねえって
気づいたんだよ

違うわ優斗…
こいつの言うことに
耳を貸さないで!

私を信じて

まあ…美咲が
否定したくなる
気持ちも分かるぜ

スリ
スリ
スリ

優斗みてえな
『出来すぎた彼氏』と
付き合うには……
お前も『それに見合う
イイ女』でいなきゃ
なんねえもんなあ…

…けどよお
それって正直
しんどくねえ?
ククク

ちが…う…

違う…ッ!!

ドクッ

へえ〜？
じゃあ
このザマを
優斗は
どう思うかな？

自分を助けるために
身体を売った彼女が
チンコの快感に喘いで
腰振ってる姿をよ

おおっ♡
すっげえ締め付け…
おいユウト〜！
お前の彼女のマンコ
とんだ名器だったぞ
♡♡

ちが

お
お
ムギ

ちが

ん
ん

ほら自分から動け
気持ちよくなったら
素直に「気持ちいい」
って言えよ♡

あ…っ
ちが…
いやあ…

はあ
はあ
はあ

優斗の相手は
アタシに任せて♡

優斗に聞かれるのが
嫌なら
俺にだけこっそり
教えてくれても
いいんだぜ♡

夜が明けるまでに
ミサキが1回でも
イっちゃったら...

?!
あ...
ちが...っ

涼子...

優斗を
アタシのおモチヤに
してあげるから♡

ドキ

ドキ

クハハハッ!
さっすが涼ちゃん♡
そりゃ名案だ♡

どろろ...

ううっ...
ちがう...っ

はぁ...!

あ...!

違う!!

たかがこんな...

ちがいはらば...

はぁ...
はぁ...

んう...!

ブルブル

あゝ♡
美咲マンコ
マジ最高♡
♡♡♡

あゝ♡
あゝ♡

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

私は
違う...

私は...
絶対負けない...

キョロ...

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

アッアッ...

私は...

あゝ♡

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

顔を上げろ
優斗によく顔が
見えるようにな

優斗

見なすぞー
こんな姿

ムギ

ああん

ああ

腰を止めんな
ちゃんと
抵抗してるフリ
しないとだろ？

はあ
はあ
はあ

私は…
ぜったい…

まけない…

はん
はん
はん

はん
はん
はん

ぜったい…

ぜっ…たい…

まげ…な…

おっおっおっ
おっおっおっ
おっおっおっ
おっおっおっ

優斗…

キャハッ〜♡

美咲ッ!!



おいどこへ
逃げる気だ？

ああッ

おーッ

優斗ッ！

…まだ

認めねえ
つもりかッ？！

んんんッ

そんなに
優斗の所に
行きてえのか？！

なら自分の
口で言え！
美咲！！





俺の極太チンコで
マンコをグチャグチャに
掻き回されて
「気持ちよくなりました」
って言え!

おおッ

んおッ

おおおッ

おおおッ

だめえッ!
やめてえッ!

子宮ごわれ
ちやうッ!!
もう無理
いらッ!!!

言えッ!!

おん
おん
おん
おん
おん



キュッ

おかしく...
なる...



あたまが...

言えよッ
美咲イ!!

アッ
アッ



美咲は
負けなかった

黒田が
望んだ言葉だけは
最後まで
回しなかった！



ザザ~~~~

ザザ~~~~

あー…
しんど…
サクッと
ひと眠り
すっか〜♥

だから
僕は…
大丈夫

大丈夫だ
美咲

DAY-23
美咲との取引
2日目
AM 05:42

目が覚めても
美咲は黒田に
抱かれていた



おい 奴隷くん♡
しっかりしな
美咲がアナルを
犯されてるのに
情けなく
横になつてて
いいの?♡

その日から
僕はもう
まともに
眠れていない

黒田が眠っている間は
母さんと涼子が交代で
美咲を見張った

美咲が黒田を殺すのは
もう不可能に思えた

そうそう
もっと丹念に舐めな
アハハッ
すっごくお似合い♡

あなた♡

おちんぽ...♡
しゅぎなのおちんぽ♡

あぁ♡
えい...♡
ちっ♡

イク♡

ほん♡

イク♡

ほろ♡

ほん♡

人は...
どこまで
堕ちることが
できるんだ？

それとも...
獣のように
交尾に耽る
この姿こそが
人間の本性
なのか？

黒田が
言っていたように
母さんも涼子も
今までもずっと
こんな本性を隠し
続けていたのか...？

優斗とキスしてた舌で
黒田のチンポ喜ばせて
あげなよ♡♡

あぁ♡

お
は
い
ッ
ッ
ッ

もうッ
むいッ
んッ
ッ

ハハ
お前ホントに
あの優斗を
弄んでた
涼ちゃんか？

ケツの穴に
ブチ込まれたら
赤ん坊みてえに
泣き喚くじゃねえ
かッ!!

こっちのお口が
寂しそうね
私が構ってあげるわ
涼ちゃん

あ
ん
ん
ッ
ッ
ッ

ん
ん
ん
ッ
ッ
ッ

ち
ち
ち
ッ
ッ
ッ

ん
ん
ん
ッ
ッ
ッ

くっ
やばい
チンコ破裂する
!!

あああっ!!
こいつはマジで
たまねえッ!!!

極上美女の舌3つで
しゃぶられる天国!
頭おかしくなるぜ!!

あなたあ〜
あなたの
おチンポ
最高お♡♡

ぬり♡
ぬり♡
ぬり♡

ちんぽ♡
ちんぽ♡
ちんぽ♡

ぬち♡
ぬち♡
ぬち♡

ああ畜生
もう我慢
できねえッ!!

ああッ
出るッ
出すぞ!!!



はぁ...

はぁ...

はぁ...



えへへ...

んっ っっ

あはぁ



グリッ

ギョッ

はぁ...

はぁ...

はぁ...

あはぁ

僕は美咲を
信じているから

だけど...
僕は耐えてみせる
美咲はまだ
負けていないんだ

昇る朝日を眺めながら
ある事実に気がついた
あの日以来
美咲は人の言葉を
失ってしまったのだと

今の美咲が
発する声といえば
ただひたすらに
獣のような
喘ぎ声だけ…

DAY-28

今や
僕にとって
この島は
沈黙の世界だ

僕たちは
焼かれたそれらを
ひたすら食る

空腹の人間は
どこまでも惨めで
卑屈なものだった

黒田は毎朝
狩ってきた
魚や肉をさばき
火をおこす

この島にはもはや
「食欲」
「睡眠欲」
「性欲」
しか残っていない

これが
黒田の望んだ世界
なのか？

みんな
人間としての尊厳を
失ってしまったのか？
どうか…どうか
美味だけでも…

おおおおおお

おおおお

おおおお





だったらよお...
どっちがより
優斗にエグい
煽りができるか...
聞かせてもらって
判断すっかな♡

ホント
生意気...

...

アタシのアナルが先っ!
先に四つん這いになって
待ってたんだからっ!

今日は
私のおまんこが
先だって
言ってたでしょ
あなた?♡

しつこいって!
いいから譲れよ
ババア!

!!
!!
はあ? ババアですって?
どこを見て言ってるの?!
旦那様は28歳に見えるって
言ってくれたんだからっ!
まったく...!!
羨がなっけないわね
ド貧乳のアナル狂い女っ!

なんだとっ?!!

クソツツ笑
お前らどんだけ
俺から搾り取れば
満足すんだよ

ねえ 優斗…
今だから告白するけど
あなたはミスで
生まれた子なのよ…

ママがちゃんと
避妊してれば
こんな悲劇も
起きなかったのに…
ごめんねえ
ママのせいで

だから
ママのミスを
帳消してあげるように
優斗も手伝って

黒田君の
赤ちゃんを孕めれば
ママも名誉挽回できる
と思うの…

結局アンタ
美咲が目の前で
犯されても
なんんにも出来ずに
震えてただけじゃん

散々偉そうなこと言っついて
アンタは黒田に負けたの
そんな生き恥さらすくらいなら
さっさと死んじゃえば？
バカ!

アンタを
犯そうとしても
粗チンすぎて
全然濡れなかったし
付き合わないでくれて
ホントありがとうね

弱っ!
弱すぎなんだよ
雑魚ッ!!

ハハッ
勝者は…

ドキ
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ



ヒュ〜…
今日は一段と
ハードだったな
クク……

はぁ
はぁ

はぁ…

あー…

はぁ…

あー…

おん

おい
オナホ共
さっさと
起きろッ!!

優斗が退屈そうだから
アイツとも
遊んでやろうぜ？

ひゅ

とろ

とろ



アンタの短小じゃ
一生届かない子宮…
お腹越しに感じながら
無駄うち射精しろ♥

ほら伝わってる？
黒田のチンコに
ガンガン突かれてる
美咲の子宮♥

イけ
イけ
イけ
イけ
イけ
イけ
イけ
イけ
イけ
イけ

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

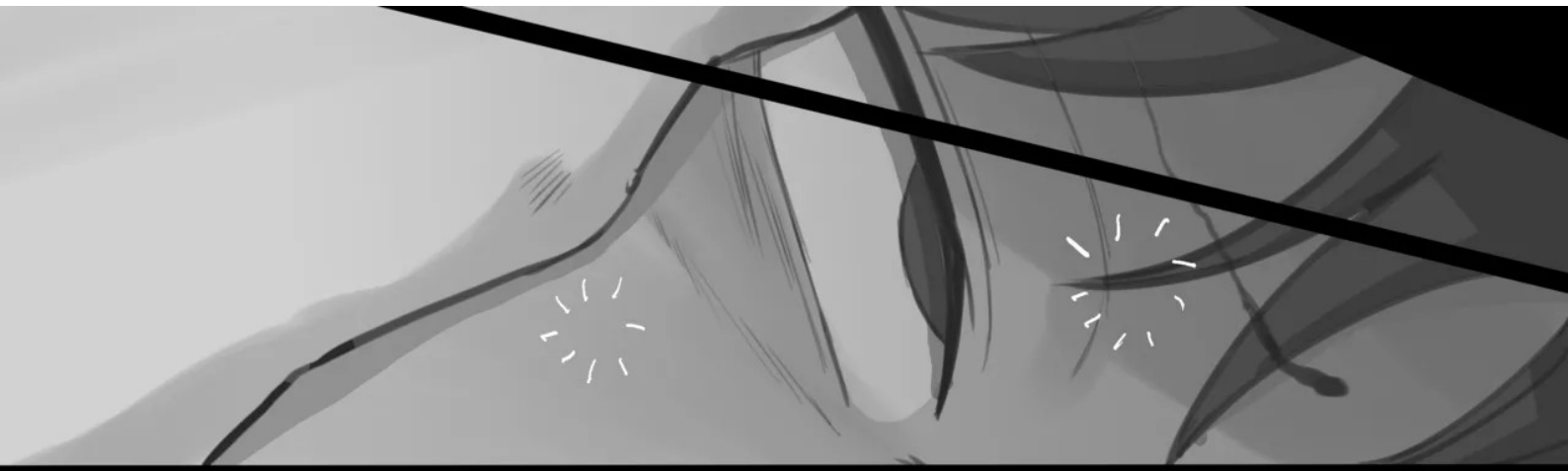
自分を
見失わない
でくれ…

どお？ スゴくない？
美咲はずっと
このチンコに犯されて
中出しされまくったん
だよ♥

せめて
美咲だけでも…

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ
おっ



違う！
美咲の体温が
伝わってくる…

み…美咲？
どうしたんだ？

優斗…
私の話を
聞いて…

やっと
喋って…
く…れ？



美…咲…？



優斗…
起きたんだね？

これ…は…
夢…か？



私が好きなのは優斗だよ

だけど…ね
黒田としたセックスが…
スゴくて…

黒田のチンポに子宮を壊されそうになると脳が溶けちゃうくらい気持ちよかったの

優斗の届かない場所を突かれるたびに頭からつま先まで熱い快感が走って止まらなかった…

ズブズブ♡

優斗とする時は一度も感じたことのない快感…

私ずっと意地張ってた
こんな私を認めたくなくて優斗に嫌われるのが怖くて…

…でもね私やっとな勇気を…

やっ…と…
勇気…を出したの…
優斗が好き…だから♡

大好きな優斗を…
これ以上…
騙したく…
ないからあ…♡

こんな私でも好きでいてくれる…?♡